

定格・仕様 (本商品は水道直結方式です。又、防湿仕様ではありませんので、ユニットバスなどでは使用しないでください。)

品番	CH6500	脱臭装置	新触媒脱臭ハニカム 2段階 自動パワー脱臭付
電源・最大消費電力	AC100V 50/60Hz 約560W	暖房	表面温度 4段階 切・低・中・高(室温~約40) 便座ヒーター 57W
待機時消費電力	約1.9W(制御回路分)	便座	保護装置 温度ヒューズ 開閉機構 電動開閉機構
電源コード長さ	約1.0m	ノズル洗浄	ノズル使用前・後、立ち上がり後
洗浄	温水タンク 貯湯式 1.06L(省エネ法に基づくお湯の量) 温水温度 4段階調節 切・低・中・高(水温~約40)	リモコン電源	単3形乾電池 3個
吐出量	5段階調節 (約0.5L~0.9L/分)	保護装置	漏電検知遮断回路内蔵、着座センサ
シャワーおしり	水圧伸縮式 気泡入りダブルスイングシャワー	使用水道圧範囲	69~735kPa(0.7~7.5kgf/cm ²)
方式ビデ	水圧伸縮式 10穴ソフトシャワー	本体寸法	高さ17.5×幅44.4×奥行き53.7cm
温水ヒーター	500W	質量	約4.4kg
保護装置	サーモスイッチ、温度ヒューズ		
節電モード	節電スイッチ、6・9時間切スイッチ		

上記使用水道圧範囲以外では、十分な性能が得られない場合があります。
使用水道圧範囲が98kPa(1.0kgf/cm²)以下では洗浄水量が少なくなります。

保証とアフターサービス (よくお読みください)

保証書について

この商品には保証書を別途添付しております。保証書は販売店でお渡しいたしますから、「販売店名、購入日」など所定の事項の記入および記載内容をご確認いただき大切に保管してください。
保証期間はご購入日より1年間です。但し、一般家庭用以外に使用された場合は保証期間内でも有料修理とさせていただきます。

補修用性能部品の保有期間

当社はこのクリーンシャワレの補修用性能部品を製造打切り後7年間保有しています。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼される時

サービスを依頼される前に、この取扱説明書の29~30ページに従ってご確認いただき、なお異常がある場合は、ご使用を中止し必ず電源プラグを抜いてからお買い上げの販売店にご依頼ください。

保証期間中は

お買い上げの販売店まで、品名、品番、お買い上げ日、故障の状況(出来るだけ具体的に)、ご住所、お名前、電話番号、修理ご希望日をご連絡ください。保証の規程に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間を過ぎているときは

お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。

地球の環境保護のため、本体を廃棄するときは、そのまま放置しないで各自自治体の取り決めにしたがってください。

松下電工お客様ご相談窓口のご案内

修理・お手入れ・お取扱い・工事などのご相談は、まずお買い求めの販売店・工事店へお申し付けください。

・転居や贈答品などでお困りの場合は、商品名・品番をご確認の上、下記窓口へ

修理・部品などのご相談は「修理ご相談センター」

ナビダイヤル (全国共通番号) **0570-081-365**
ハイ 365日
全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。
【受付時間:月~金9:00~19:00土・日・祝9:00~17:00】

ただし、携帯電話・PHS等は下記の電話番号へおかけください。

札幌 ☎011-261-6401 大阪 ☎072-878-8999

東京 ☎03-5392-7190 福岡 ☎092-622-0531

名古屋 ☎052-551-7900

商品・お取扱いなどのご相談は「お客様ご相談センター」

ナビダイヤル (全国共通番号) **0570-081-713**
ハイ ナイス
全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。
【受付時間:月~金9:00~19:00土・日・祝9:00~17:00】

ただし、携帯電話・PHS等は下記の電話番号へおかけください。

松下電工お客様ご相談センター

☎ 06-6904-4382

FAX 06-6904-4471

〒571-8686 大阪府門真市門真1048

ご注意 所在地、電話番号、受付時間などが変更になることがあります。

0305

松下電工株式会社 リビング・ライフ事業部

(〒571-8686)大阪府門真市大字門真1048

National
松下電工

保管用・保証書別添

温水洗浄便座

クリーンシャワレ

CH6500

取扱説明書

安全上のご注意 1
各部のなまえと付属部品 3

取り付けかた

取り付けの手順 5
取り付けまえに 6
分岐水栓を取り付ける 7
本体を取り付ける 11
給水ホースを取り付ける 12
アース線を接続する 12
リモコンを取り付ける 13
お使いになる前に 14
水道の元栓を開ける 14

使いかた 15
リモコンの操作のしかたと機能 17
電源オートオフについて 19
節電について 20
6・9時間切タイマーについて 20

お手入れのしかた (日常/週一回) 21
お手入れのしかた (月一回程度) 23

こんなときは 26
● 長期間使用しないとき 26
● 凍結のおそれがあるとき 27
● 万一の破損、水もれのとき 28
故障かな?と思ったとき 29
別売品/便座の抗菌 30

定格・仕様 31
保証とアフターサービス 31





お買い上げいただきありがとうございます。
よくお読みの上、保証書と共に大切に保管してください。


安全上のご注意


ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
 ここで示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危険や損害を未然に防止するためのものです。又、注意事項は次のように区分しています。

いずれも、安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

-  **警告** 誤った取り扱いをすると、人が死亡又は重傷を負う可能性が想定される場合
-  **注意** 誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害発生が想定される場合







絵表示の例

 ① 記号は、禁止の行為であることを告げるものです。
 (左図の場合は分解禁止)



 ● 記号は、行為を強制したり、指示したりする内容を伝えるものです。
 (左図の場合はアース工事をする)

お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。



警告

 分解禁止	絶対に分解したり、修理・改造はしない 感電、火災、けがの原因になります。 修理はお買い上げの販売店にご相談ください。
 水場使用禁止	浴室など、湿気が多い場所には設置しない 感電や火災の原因になります。
 水ぬれ禁止	本体や電源プラグに水や洗剤や小便をかけない 感電や火災の原因になります。
 ぬれ手禁止	ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない 感電の原因になります。
 禁止	傷んだ電源プラグ、ゆるんだコンセントは使用しない 電源コードを破損するようなことはしない 感電や火災の原因になります。
 必ず守る	必ず交流100Vで使用する 守らないと感電や火災の原因になります。
	定格15A以上のコンセントを単独で使う 他の器具と併用すると、分岐コンセント部が異常発熱して発火の原因になります。
	電源プラグにほこりが付着したら必ず取りのぞく ほこりが付着したまま使用すると、火災の原因になります。 定期的に点検してください。
	電源プラグは確実に根元まで差し込む 差し込みが不完全な場合、感電や火災の原因になります。
	必ず上水道に接続する 守らないとぼうこう炎や皮膚の炎症および、機械内部の腐食により、感電・火災の原因になります。
	低温やけどに注意する 便座に皮膚の同じ場所が長時間触れていると、低温やけどの原因になります。 次のような方が、暖房便座をご使用になるときは、周囲の方が便座温度の設定を「低」にしてあげてください。 お子様、お年寄り、ご病人、自分で温度調節のできない方、皮膚感覚の弱い方、眠気を誘う薬(睡眠薬、かぜ薬など)を服用された方、深酒・疲労の激しい方

警告

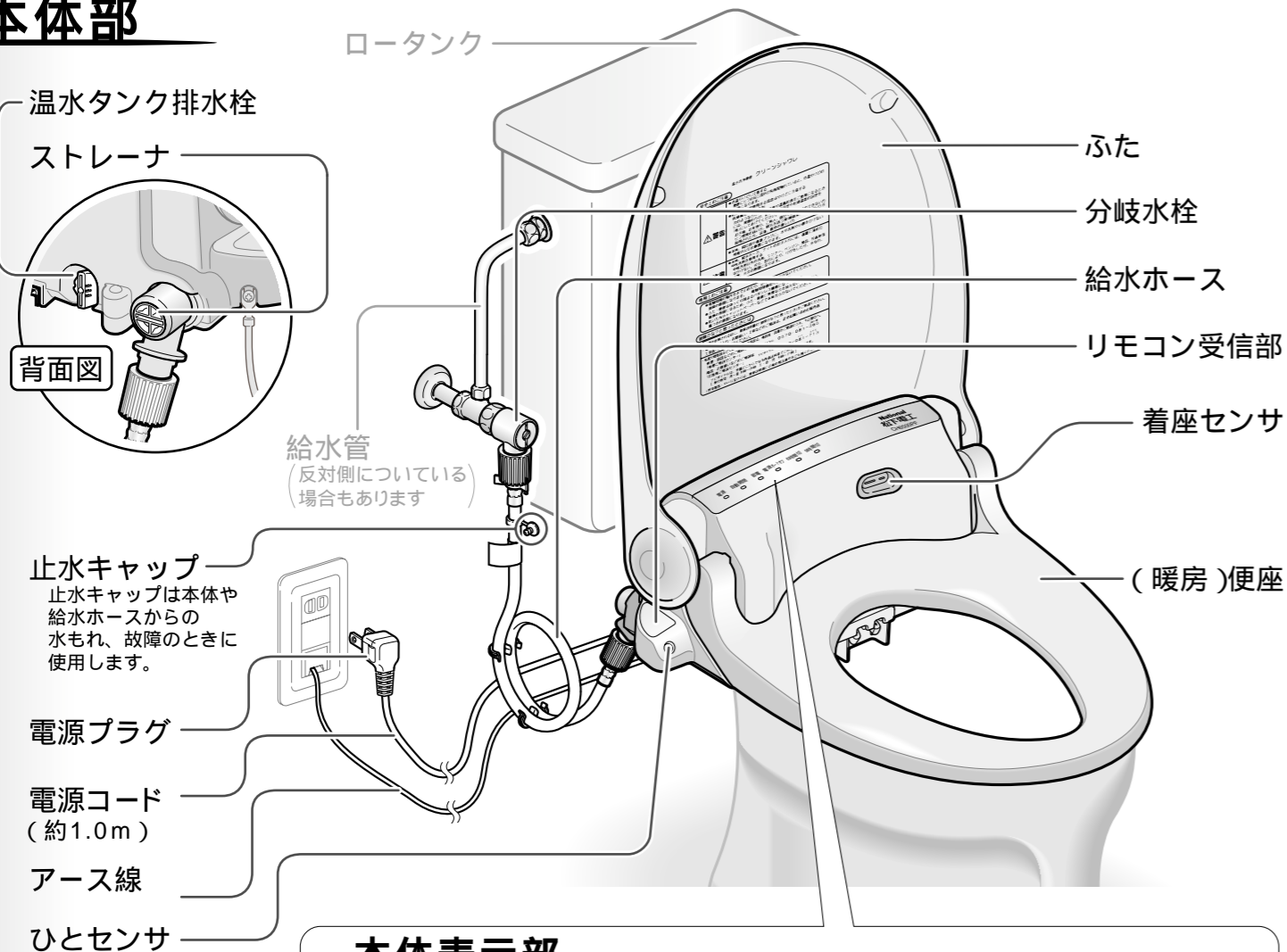
 必ず守る	寒冷地の取り付けは暖房の効いた部屋で本体をあたためてからおこなう(約2時間) 守らないと本体検査時の残水が輸送や保管中に凍結し、本体への給水がおこなわれない 場合があり、故障や火災の原因になります。
 アース線接続	アースは、D種(第3種)接地工事されていることを確認する アース工事がされていないと故障や漏電のときに感電する原因になります。 アース工事はお買い上げの販売店等にご依頼ください。

注意

 禁止	便座、ふた、操作部や本体の上に乗ったり、強い衝撃を与えない 転倒したり、割れてけがをする原因になります。
	便座コードに足をかけたり、乗ったりしない コードが切れてけがをしたり、感電、火災、故障の原因になります。
	座ったまま、ふたに寄りかからない ふたが傷ついたり、割れてけがをする原因になります。
	分岐水栓に力を加えたり、分岐水栓本体を回転させない 水もれの原因になります。
	給水ホースをひっぱったり、折り曲げたり、とがったもので傷をつけない 水もれの原因になります。
 必ず守る	開口部から指や物を入れない 感電、やけど、火災、故障の原因になります。
	本体、給水ホース、ナットのお手入れには適量に薄めた中性洗剤を使用する 中性以外の洗剤、シンナー、ベンジン、薬品、芳香剤などはかけない。 劣化、割れにより、けがをしたり、水もれや火災、感電の原因になります。
	お手入れのあと、ホース取り付け部がゆるんでいないか確認する ゆるんだまま使用すると水もれの原因になります。
	凍結予防する(27ページ参照) 凍結すると配管、本体内部が破損して水もれの原因になります。
	長期間使用しないときは本体の水を抜き、電源プラグを抜く(26ページ参照) そのまま放置すると水の腐敗による皮膚の炎症の原因になります。
	本体を着脱する前に必ず電源プラグを抜く 抜かないと、感電の原因になります。
	持ち運ぶときや、本体着脱時は、必ず本体を持ってからおこなう ふた・便座を持つと本体からはずれ、けがをする原因になります。
ふた・便座開閉時、指などはさまないように注意する 守らないとけがをする原因になります。	
本体着脱時は、本体に無理な力を加えないように注意する 守らないとけがをしたり、配水管の水もれの原因になります。 本体着脱がかたい場合は、無理に取りはずさないで、本体固定プレートを固定してい るナットをゆるめてはずしてください。	

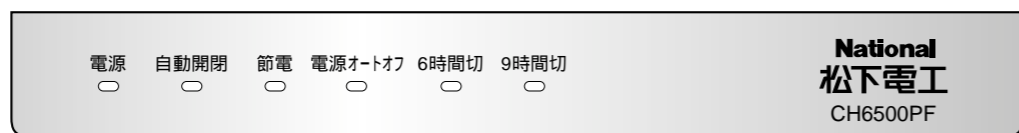
各部のなまえと付属部品

本体部



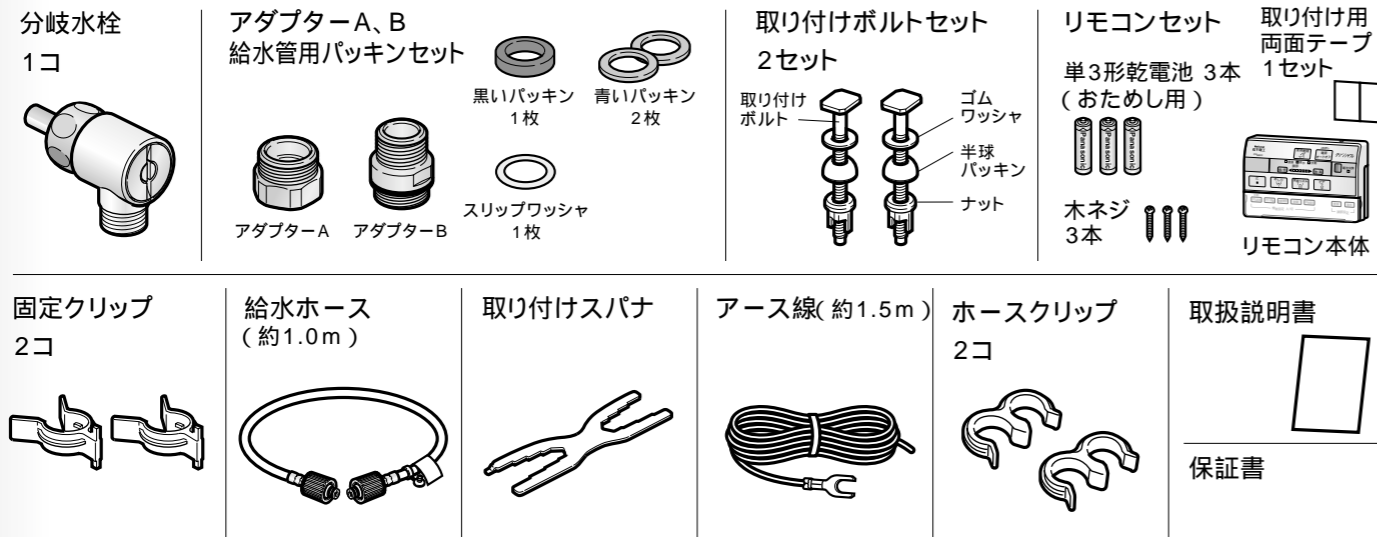
本体表示部

設定動作に応じて、ランプが点滅・点灯します。

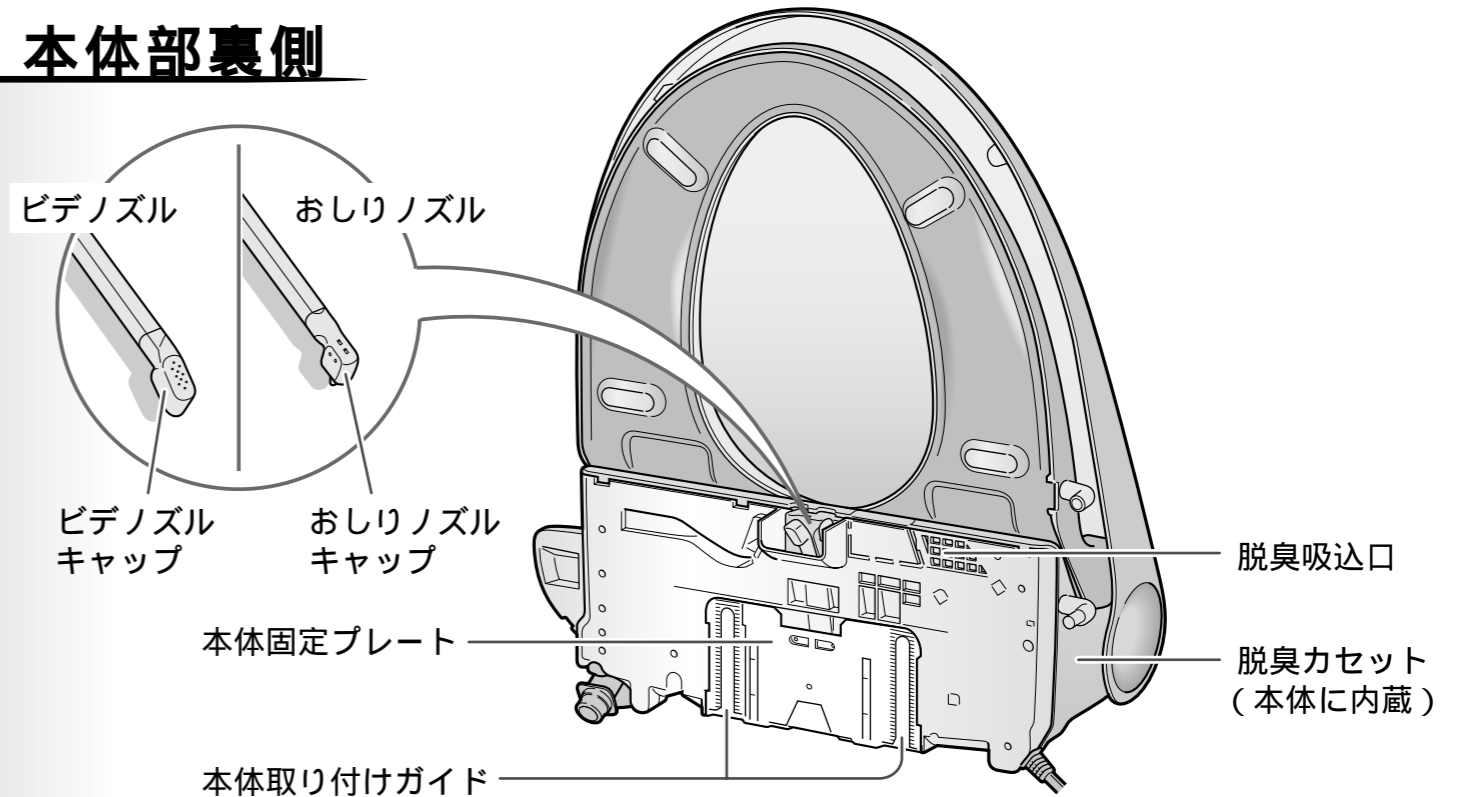


本商品は、本体部にスイッチはありません。すべてリモコンで操作します。

付属部品

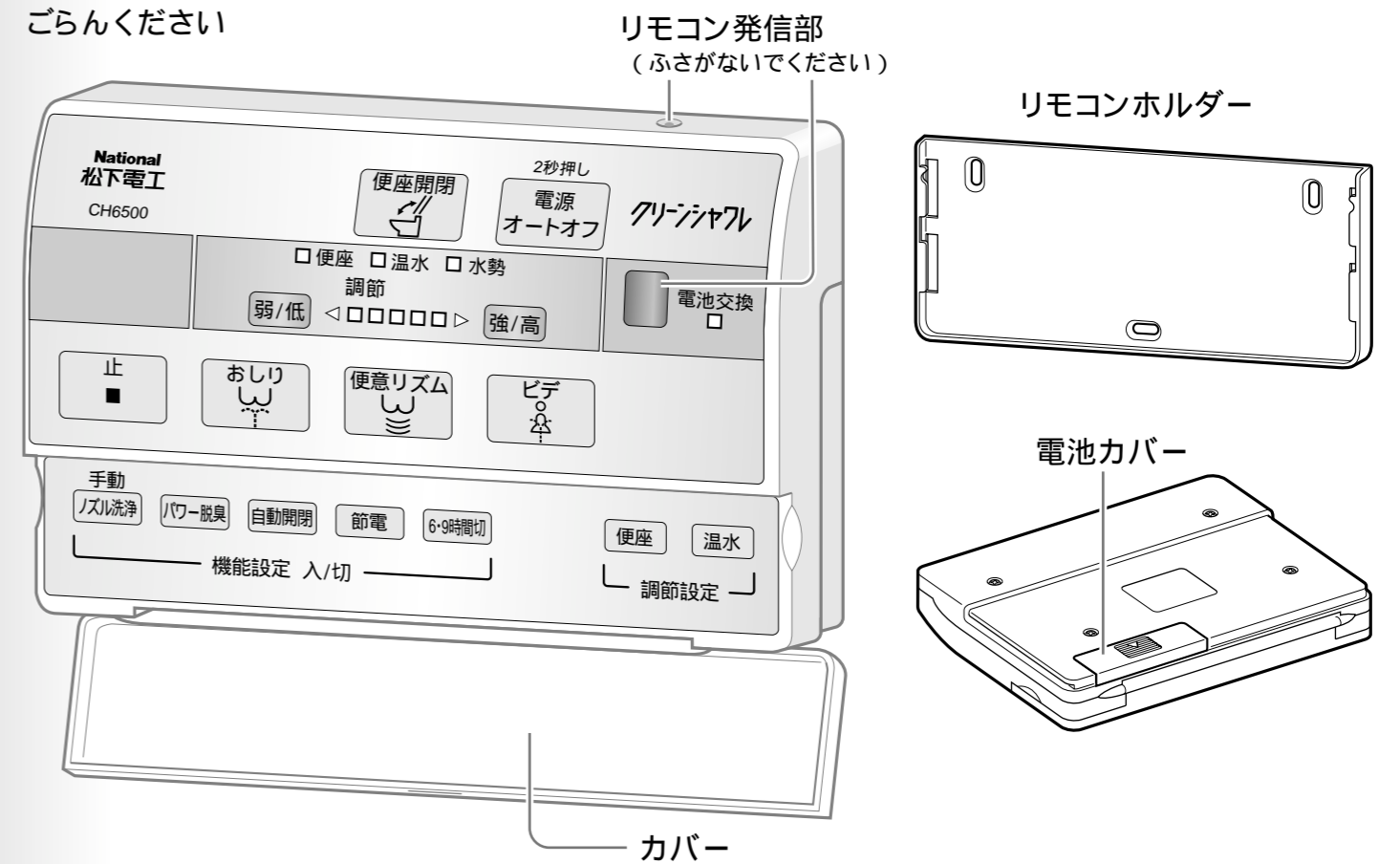


本体部裏側



リモコン部

くわしくは16～18ページを
ごらんください



取り付けの手順

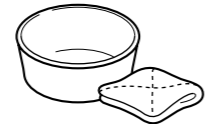
大まかな取り付けの流れを示します



- 水道の元栓を閉める 6ページ
- 便座を取りはずす
又は既存の温水洗浄便座を取りはずす 6ページ
- 分岐水栓を取り付ける 7~10ページ
- 本体を取り付ける 11ページ
- 給水ホースを取り付ける 12ページ
- 水道の元栓を開ける 14ページ
- 電源プラグを差し込む 14ページ
- 温水タンクに給水する 14ページ

準備するもの

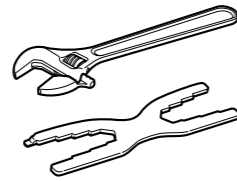
洗面器・ぞうきん



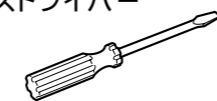
プラスドライバー



長さ250mm 以上の
モンキーレンチ
または
付属の取り付けスパナ



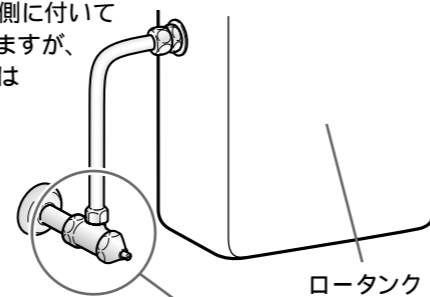
マイナスドライバー



軍手
(アダプターの取り付けのときに使います)



ロータンの右側に付いている場合もありますが、取り付けに支障はありません。

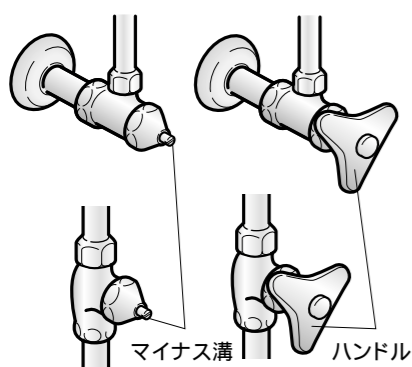


止水栓

トイレの止水栓のタイプを確認する

お客様ご自身で取り付けできる止水栓

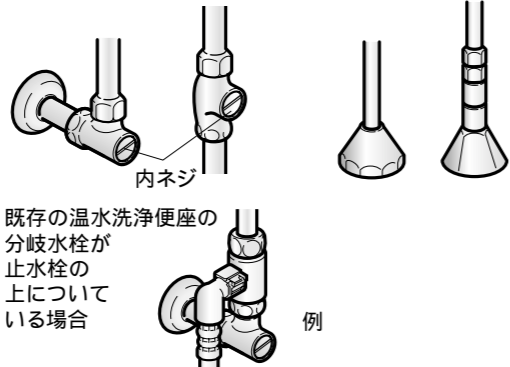
外ネジタイプの止水栓



既存の温水洗浄便座の分岐水栓が止水栓に直接ついている場合

例

内ネジタイプの止水栓



既存の温水洗浄便座の分岐水栓が止水栓の上についている場合

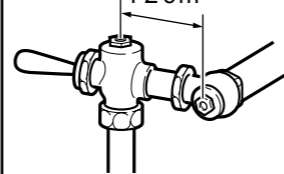
例

別売品フレキパイプ(長さ約40cm)が必要です
CH79021(長さ約40cm)
希望小売価格1,200円(税別)
市販のフレキパイプでも代用できます。
フレキパイプが入手できない場合パイプカッターが必要です。

フラッシュバルブのとき

TOTO製のみ

12cm



専門的な工事になりますので、販売店にご相談ください。

6ページの「取り付けまえに」をおこなった後、分岐水栓を取り付ける方法は下記の通りです。

分岐水栓を取り付ける 7ページ

A

分岐水栓を取り付ける 9ページ

B

取り付けまえに

取り付けが完了するまで次のことをお守りください

電源プラグは絶対差し込まない。
閉めていた水道の元栓は、絶対に開けない。
故障、水もれの原因となります。

注意事項

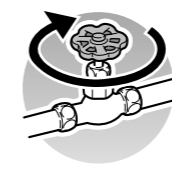
使用可能な水道圧は、
69~735kPa
(0.7~7.5kgf/cm²)
です。
(一般家庭はほとんど範囲に入っています。
上記水道圧でもトイレ付近の蛇口をお使いになると水圧が下がり、洗浄水が出にくい場合があります。

1 水道の元栓を閉める

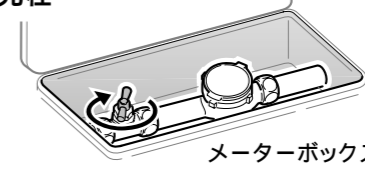
多くの場合、建物の外に元栓があります

元栓を閉める前にガス湯沸器や洗濯機の使用を止めてください。
閉栓後は近くの蛇口などで給水が止まっていることを確認してください。

一般的な元栓



水道メーターと一体になった元栓



メーターボックスの止水栓を閉める

埋め込み式の元栓



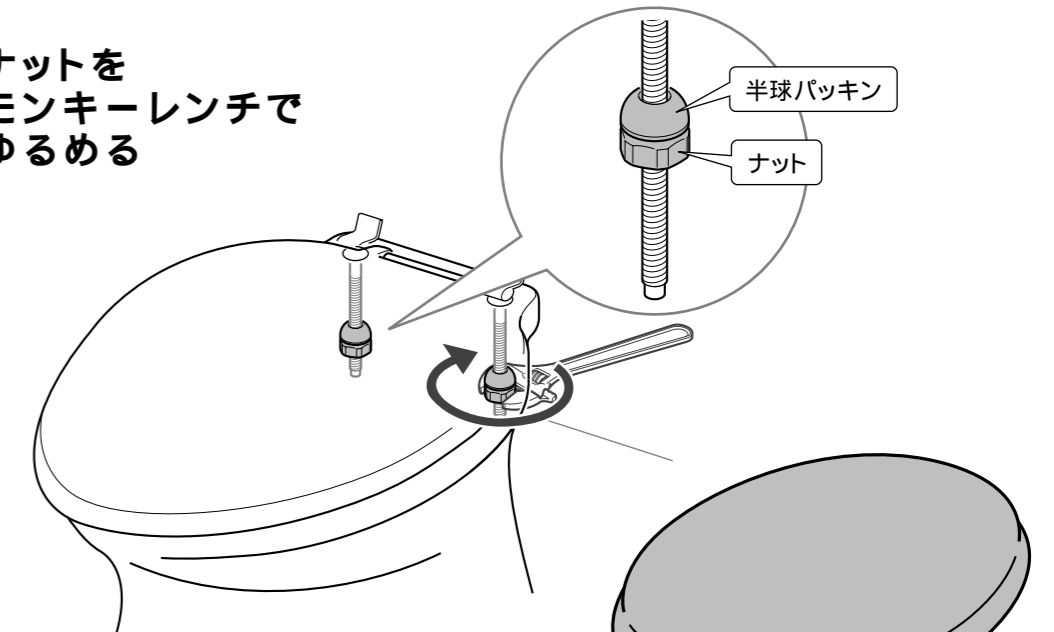
止水栓キーなどで閉める

2 便座を取りはずす

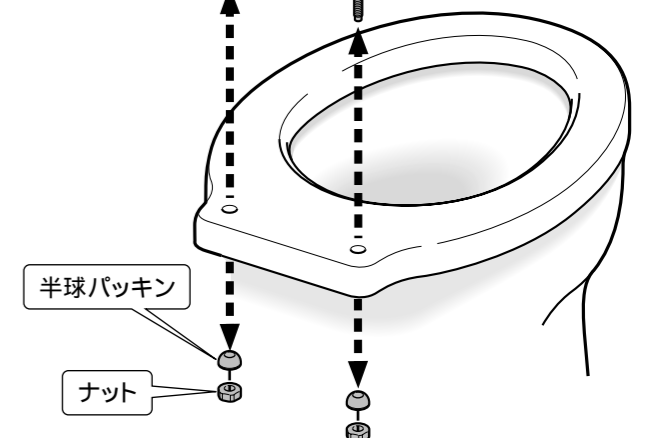
(わかからないときは、各便器メーカーにお問い合わせください)

1 ナットをモンキーレンチでゆるめる

現在の温水洗浄便座を取り付けてある場合はその温水洗浄便座を取りはずしてください。
はずしかたがわからないときは、各便器メーカー、温水洗浄便座メーカーにお問い合わせください。



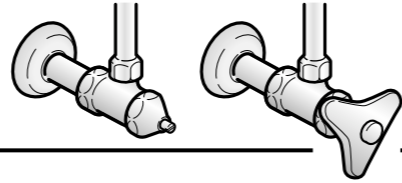
2 ナットと半球パッキンをはずし、便座を取りはずす



転居等に備え、便座、ふた、ナット、半球パッキンの保管をおすすめします。

分岐水栓を取り付ける

A 外ネジタイプの止水栓の場合



警告

分岐水栓等は付属の物に取りかえる老朽化による故障で水もれのおそれがあります。

元栓を閉め、止水栓をはずした状態のときは、他のトイレや水道などを使用しないでください。逆流のおそれがあります。

水栓コマが固定コマの場合はすべての部品を元にもどし、止水栓のキャップを開けた後、9ページ「内ネジタイプ・止水栓なしタイプ」の方法で、取り付けを行ってください。

固定コマ...水栓コマと止水栓棒が一緒になったもの(寒冷地で多く使用されます。)



既存の温水洗浄便座の分岐水栓がついていた場合は、同じように分岐水栓をはずし、中から水栓コマを取りだす。

1 水栓コマの黒いパッキンに傷などがある場合には、止水性能に影響がありますので、交換することをおすすめします。(ホームセンターなどでお買い求めください)

2 ゴムパッキンをなくしたり、傷をつけた場合にはパッキンのみお取り寄せいただけます(有料)。販売店にご注文ください。

この部品が必要です (同梱)

分岐水栓

他の部品は使用しません

1 配管の止水栓をモンキーレンチで取りはずし水栓コマを取りだす

配管の残水を洗面器などで受ける。

水栓コマ

止水栓

止水栓棒

モンキーレンチ

止水栓棒 座金 パッキン キャップ

使用しません、転居などに備え、保管おすすめします。

水栓コマを取りだすため止水栓棒をマイナスドライバーではずす。

2 1で取りはずした水栓コマを分岐水栓に差し込み配管に付ける

2 ゴムパッキンが入っていることを確認する

1 水栓コマ

分岐水栓

分岐水栓からゴムパッキンが取れた場合

ゴムパッキンの斜めになっている方を内側にして取り付けてください。

3 袋ナットを手で強く締め、さらに1~1.5回転モンキーレンチで締め付け、分岐水栓を取り付ける

袋ナット

モンキーレンチ

袋ナットを強く締め込み

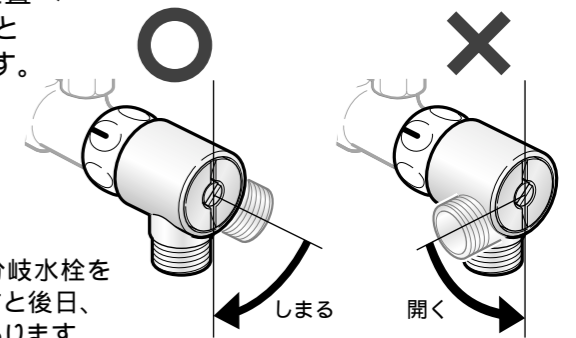
袋ナットに油性ペンなどで印をつけ、モンキーレンチで1~1.5回転締め付けたことを確認してください。配管部がぐらつく場合は手をそえて締め付けてください。

ポイント!

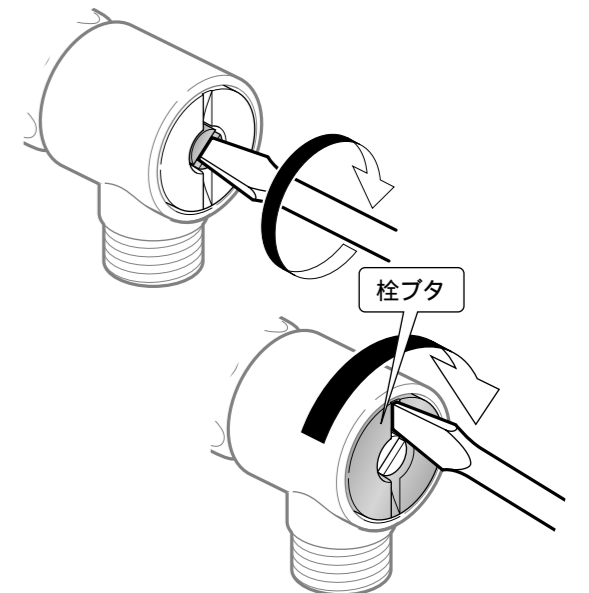
取り付け後の水もれ原因の多くが袋ナットの締め付け不良です。しっかり締め付けてください。

仕上がり位置より少し手前の位置に分岐水栓を固定して袋ナットを締め込んでいき最後の締め込みと一緒に分岐水栓を仕上がり位置へ持っていきようになるとうまく取り付けられます。

注意 位置合わせのために分岐水栓をゆるめる方向へまわすと後日、水もれする可能性があります。



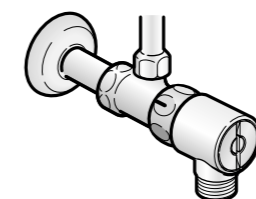
4 止水栓を押し込みながら確実に閉める (水もれ防止のため)



5 栓ボタンが確実に閉まっていることを確認する



完成図



次は「本体を取り付ける」11ページにすすんでください▶

分岐水栓を取り付ける

警告

分岐水栓、アダプターなどは付属の物に取りかえる
老朽化による故障で水もれのおそれがあります。

注意

必ず軍手着用の上、モンキーレンチで締め付ける
素手でまわすとネジ部で手を切るおそれがあります。

既存の温水洗浄便座の分岐水栓がついていた場合は、新しい分岐水栓と取りかえるため、はずしてください。

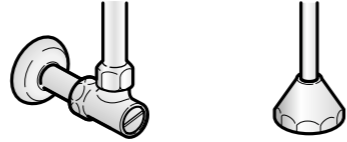
止水栓棒・栓ブタは転居などに備え、保管してください。

ロータンクの手洗いが完全に止まったかを確認してください。

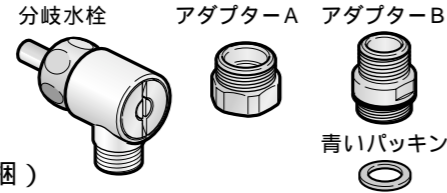
ストレーナ(あみ)付きのパッキンの場合は、そのままお使いください。

給水管がフレキホース(簡単に曲げることができるもの)の場合は、止水栓側の方だけはずし、組みかえた分岐水栓を取り付けます。

B 内ネジタイプ 止水栓なしタイプの場合



この部品が必要です(同梱)



フレキパイプ(別売)
(長さ約40cm X 黒いパッキン2枚付属)
CH79021
希望小売価格1,200円(税別)

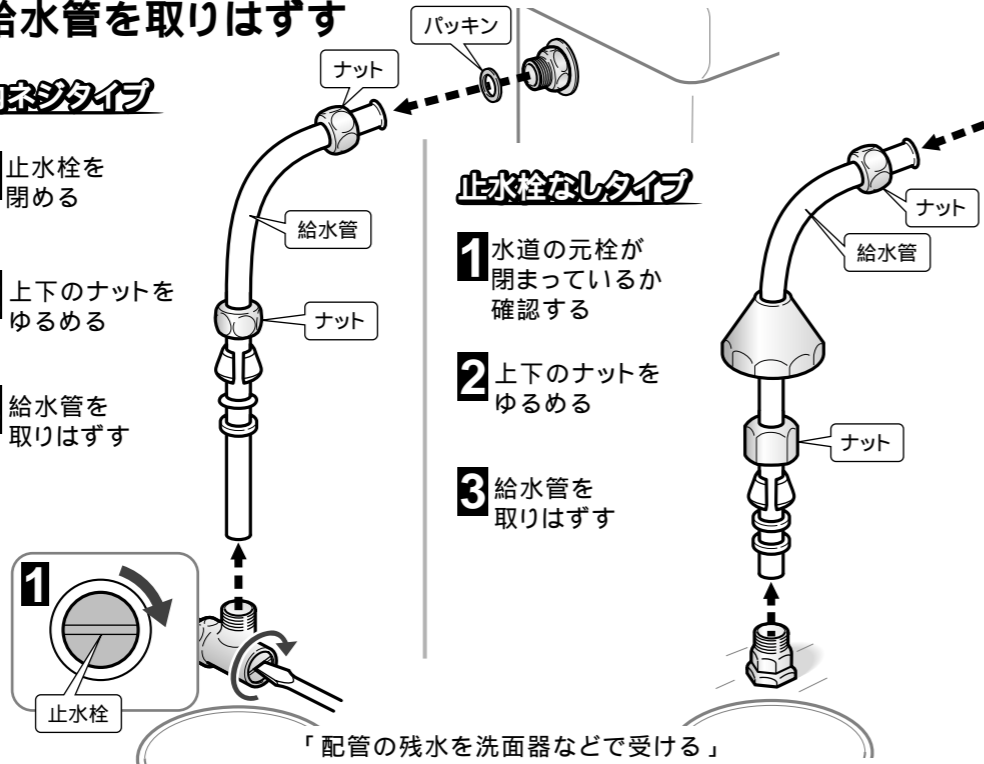
準備



1 給水管を取りはずす

内ネジタイプ

- 1 止水栓を閉める
- 2 上下のナットをゆるめる
- 3 給水管を取りはずす



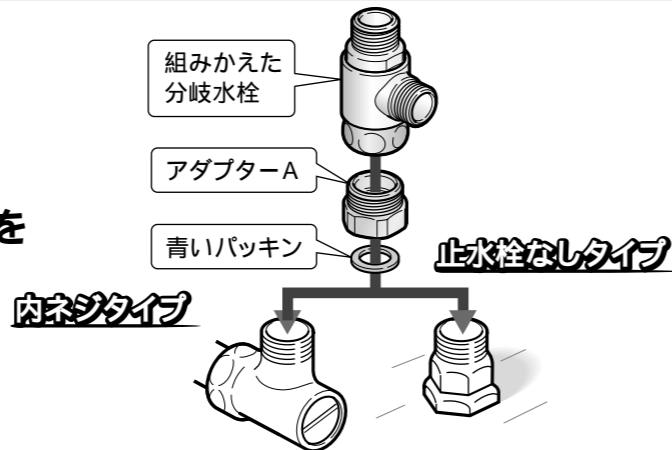
止水栓なしタイプ

- 1 水道の元栓が閉まっているか確認する
- 2 上下のナットをゆるめる
- 3 給水管を取りはずす

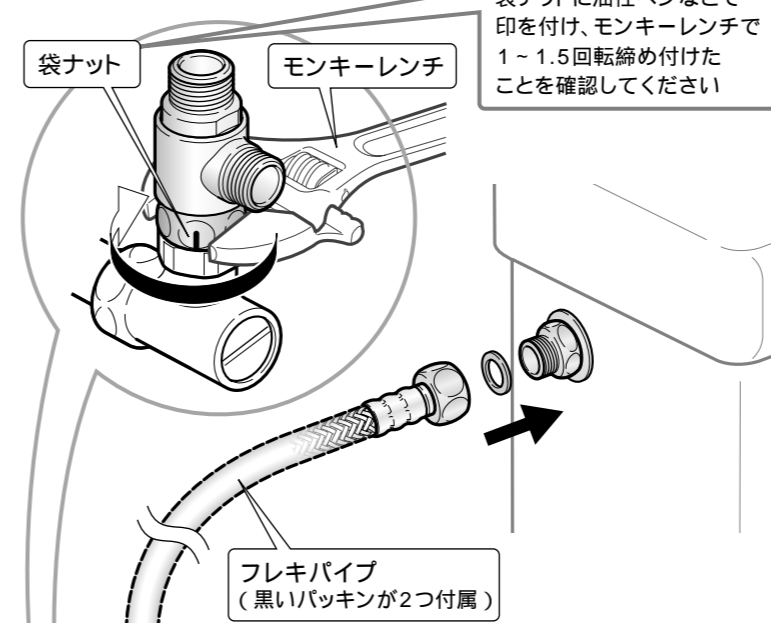
「配管の残水を洗面器などで受ける」

2 アダプター-Aをモンキーレンチで止水栓に締め付ける

3 組みかえた分岐水栓を取り付ける



4 袋ナットを手で強く締め、さらに1~1.5回転モンキーレンチで締め付ける



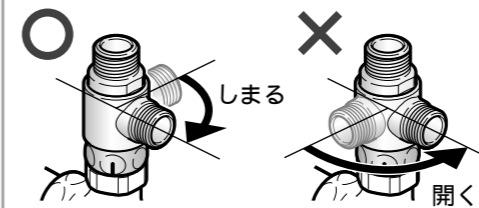
袋ナットに油性ペンなどで印を付け、モンキーレンチで1~1.5回転締め付けたことを確認してください

5 フレキパイプを取り付ける

仕上がり位置より少し手前の位置に分岐水栓を固定して袋ナットを締め込んでいき最後の締め込みと一緒に分岐水栓を仕上がり位置へ持っていくようにするとうまく取り付けられます。

注意

位置合わせのために分岐水栓をゆるめる方向へまわすと後日、水もれする可能性があります。



内ネジタイプ



止水栓なしタイプ



ポイント!

取り付け後の水もれ原因の多くが袋ナットの締め付け不良です。しっかり締め付けてください。



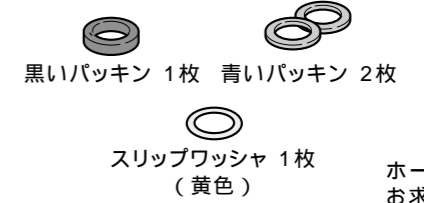
フレキパイプを入手できないときは

この部品が必要です

給水管用パッキンセット(同梱)

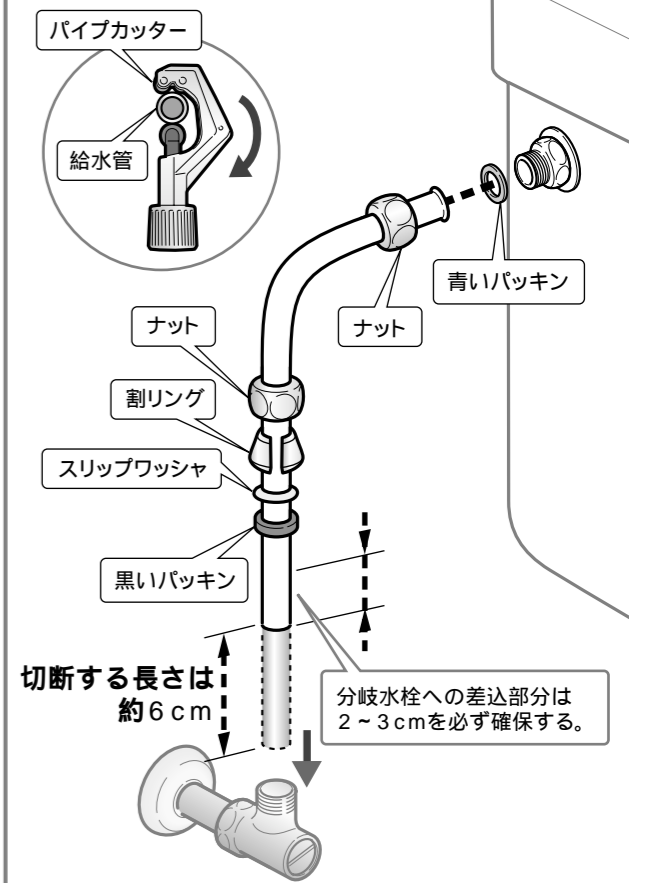
用意する工具

パイプカッター



ホームセンターなどでお求めください。

パイプカッターで取りはずした給水管を切断して長さを調節する



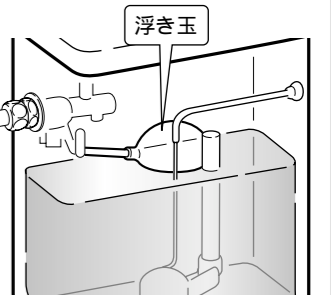
切断する長さは約6cm

分岐水栓への差込部分は2~3cmを必ず確保する。



取り付け後は、ロータンクの中の浮き玉が壁に当たっていないか確かめる

当たっているとロータンクの水が止まりにくくなります。



次は「本体を取り付ける」11ページにすすんでください▶

本体を取り付ける

警告

アースを確実に取り付け
[D種(第3種)接地
工事100以下]
アースを取り付けな
いと故障や漏電の
ときに感電の原因
になります。

アース線は付属の
ものにとりかえる
老朽化による故障
で感電のおそれ
があります。

ご注意

- ナットは工具で締め
ないでください。
破損するおそれ
があります。

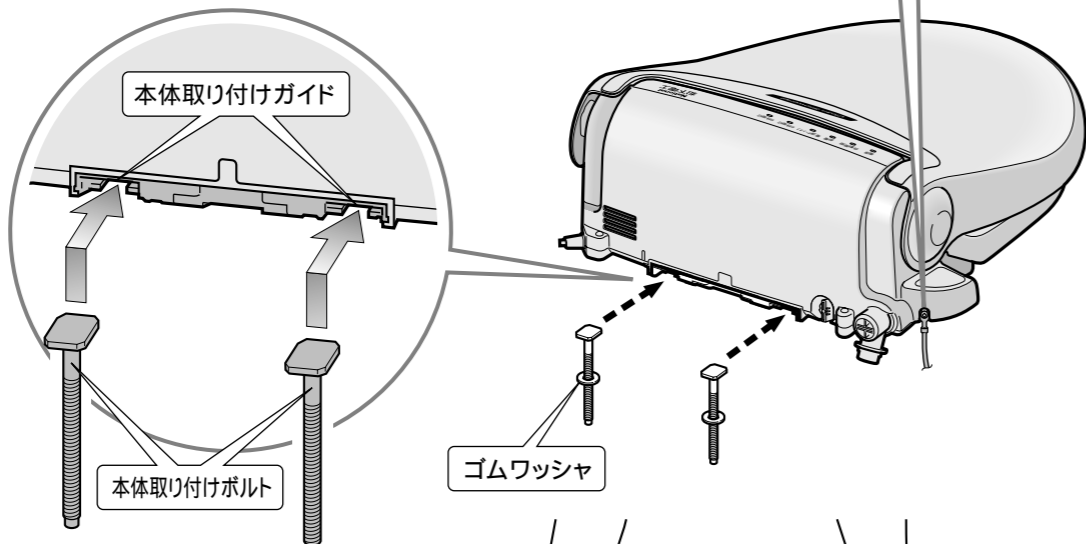
- ふたが開いたときに、
ふたがロータンクと接
触する場合には接触
しない位置(手前)へ少
しずらして固定して
ください。

位置の調節

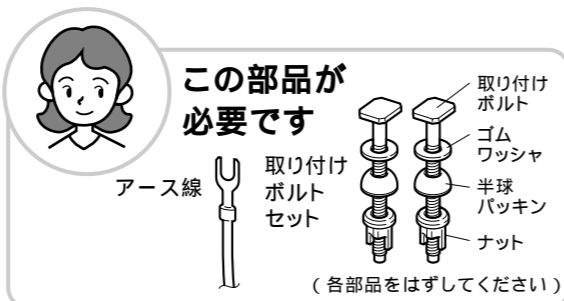
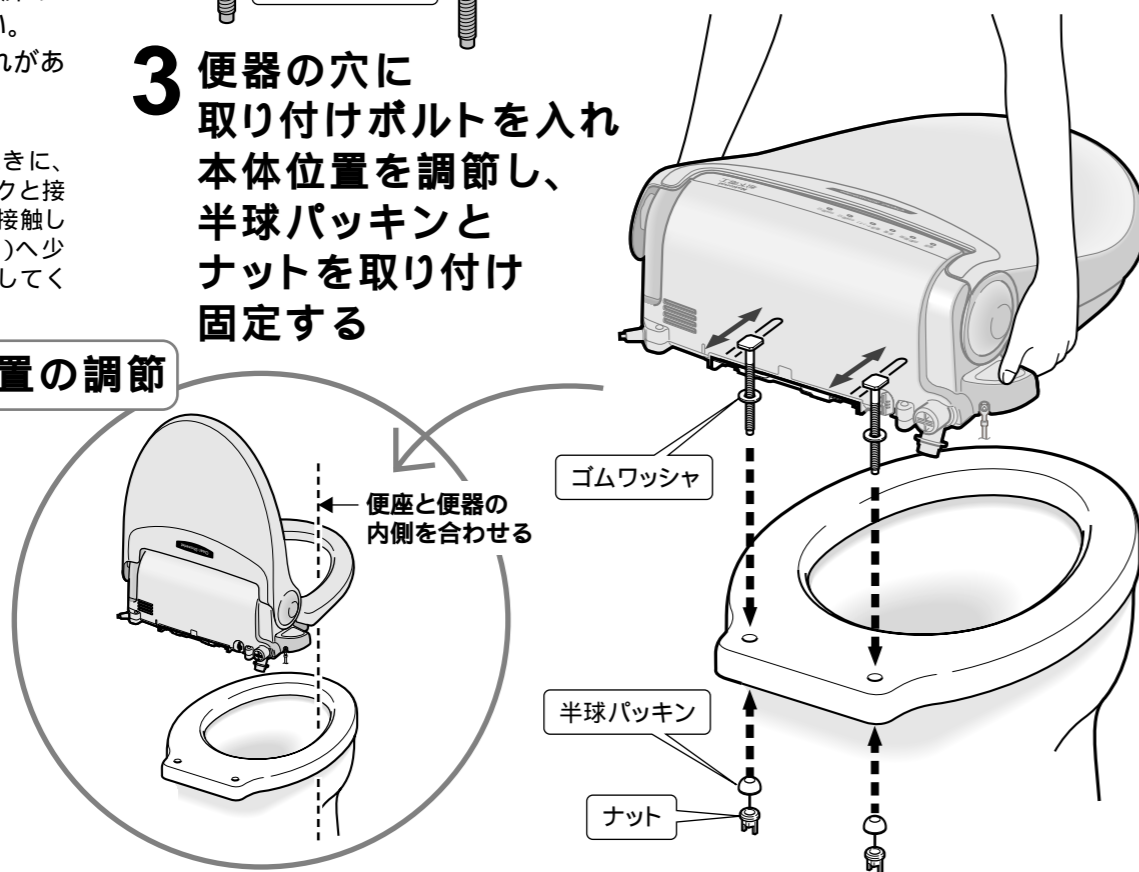
1 アース線を本体に 取り付ける

本体のアース取り付けネジを
プラスドライバーでゆるめる。
アース線の端子を差し込み、
アース取り付けネジを
締め付ける。

2 取り付けボルトを 本体取り付けガイドに 合わせてはめ ゴムワッシャを挿入する



3 便器の穴に 取り付けボルトを入れ 本体位置を調節し、 半球パッキンと ナットを取り付け 固定する



給水ホースを取り付ける

警告

給水ホースは付属
のものにとりかえる
老朽化による故障で
水もれのおそれ
があります。

注意

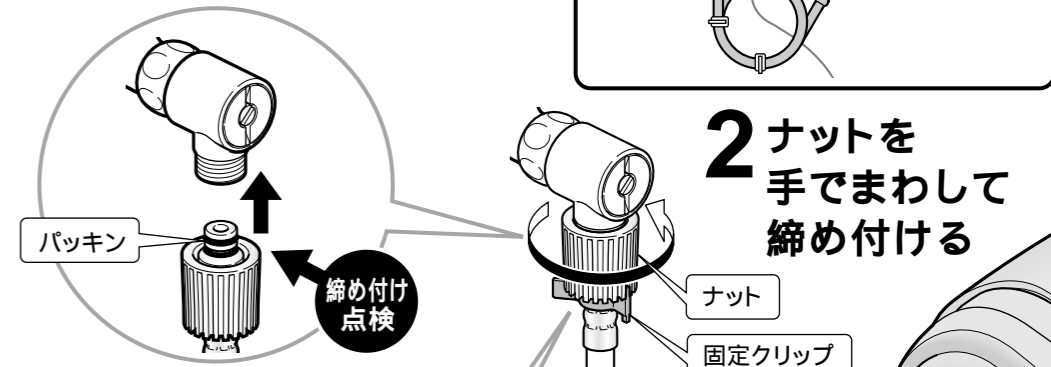
給水ホースが折れる
と水の勢いが弱く
なります

破損防止のため、工具を
使用してまわさないで
ください。
パッキンを傷つけると水
もれします。

ホースの長さが足りない
場合、延長ホースをご利
用ください。
別売品連用ホースセット
CH79018(長さ1m)
希望小売価格3,000円(税別)
CH79019(長さ2m)
希望小売価格3,500円(税別)

1 ホースをつきあたるまで まっすぐ差し込む

(ナットを下げた状態でホースを差し込む)



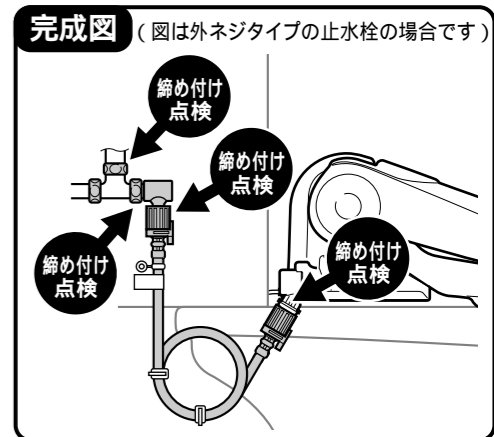
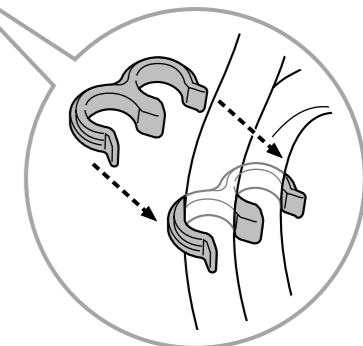
3 ナット部に固定クリップを 取り付ける

(ホースはずれ防止のため)



4 本体側にも同様の手順で給水ホース、 固定クリップを取り付ける

5 給水ホースがじゃまになる場合は 図のようにホースクリップを取り付ける



アース線を接続する

警告

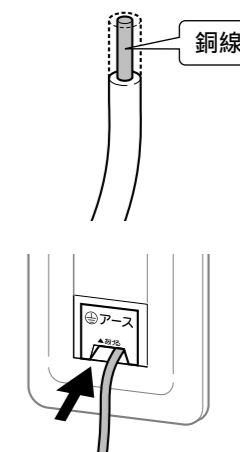
アース線は付属の
ものにとりかえる
老朽化による故障で
感電のおそれ
があります。

アース線の長さはトイレ
の場所の形状により調整
してください。

1 アース線の銅線をむき出しにする

2 アース専用端子に固定する

- アース専用端子がない場合は
お買い上げ店にご相談ください。

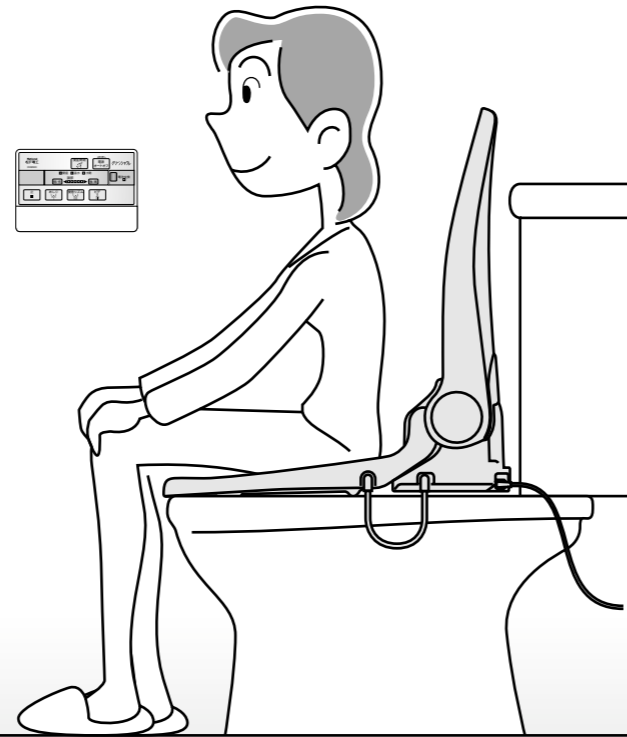


リモコンを取り付ける

同室で2台以上クリーンシャワレを並べて設置される場合、隣のリモコン信号を受けて動作する場合があります。リモコン信号を変更できますので、お買い上げの販売店までお問い合わせください。

位置の目安

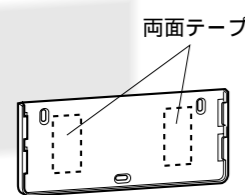
使いやすい位置に取り付けてください。リモコン信号の届きにくい場合がありますので、必ず取り付け前にその位置で操作ができることを確認してください。



リモコンホルダーの取り付け例

A. 接着できる平らな壁

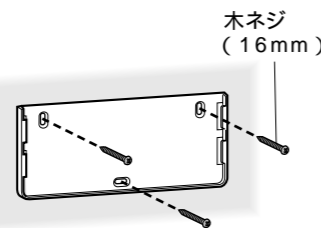
- 化粧合板
- タイルなど



- 壁面の汚れをとり付属の両面テープで貼り付ける。

B. ねじ止めできる壁

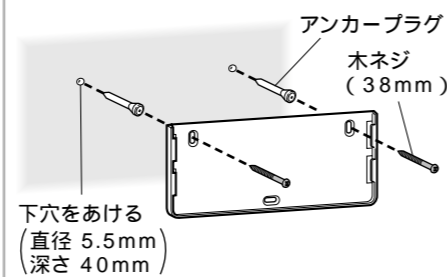
- 各種合板
- ビニールクロスなど



- 付属の木ネジ3本で壁面に取り付ける

C. ねじ止めできない壁

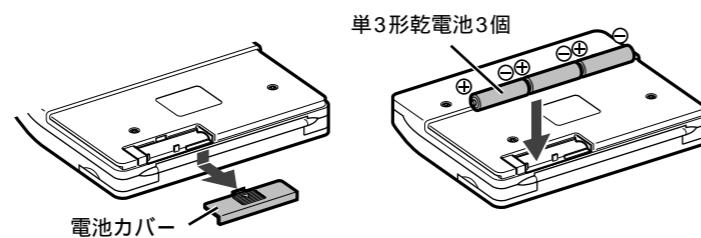
- 石こうボード
- タイル
- コンクリートなど



アンカープラグ、木ネジ(38mm)は同梱されていません。

- 専門的な工事になりますので、販売店にご相談ください。

リモコンに電池を入れる

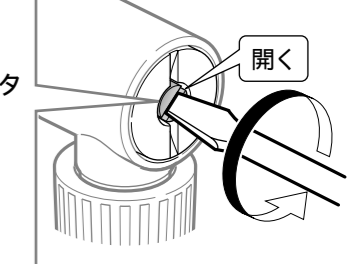


- 電池寿命の目安は約1年です。(付属の電池はおためし用ですので電池寿命が短い場合があります)

お使いになる前に

1 水道の元栓を開ける

閉まっている状態から約2回転まわす



2 止水栓を開ける

止水栓は全開にすると空まわりします。ご使用にあたっては問題ありませんが次に止水栓を閉めるときに閉めにくくなります。

温水タンクへの給水が終わるまで、電源ランプの点滅が続きます。

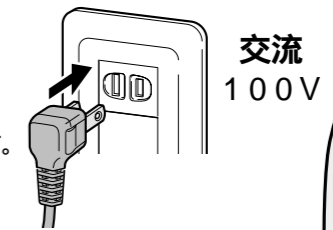
温水タンクに給水されている状態では、電源ランプが約10秒間点滅し、その後点灯に変わります。

配管や給水ホースから水もれがないことを確認する。(12ページ完成図参照)

水もれしているときは、止水栓を閉め、水がもれている所を確認し、締め直してください。

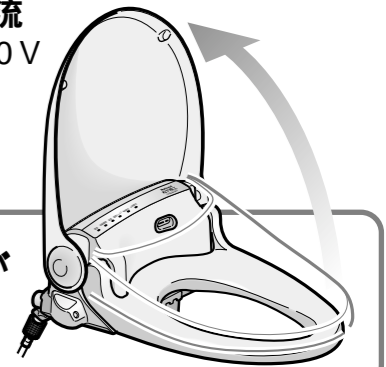
3 電源プラグを差し込む

本体表示部の電源ランプが点滅します。



電源プラグを差し込むと約1分後にふた自動開閉はたらき、ふたが開くことがあります。

開くふたにご注意ください。

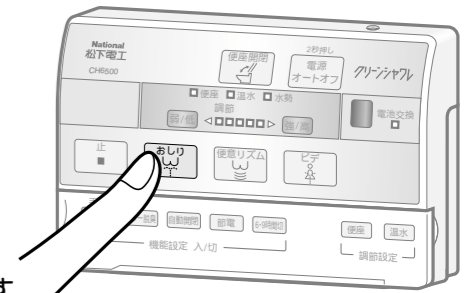


4 温水タンクへ給水する

おしりマークを押してください。

ピッと音がなり給水を開始し、約2分で給水は完了します。

完了すると“ピッ”と音がなります
電源ランプが点滅から点灯に変わります。



以上で取り付けは完了です。
取り付けかたがわからないときは、31ページに記載の「お客様ご相談センター」にご相談ください。

お願い 必ずお読みください

ご使用の際、故障かな?と思われるときは、29~30ページをまずお読みください。特に下記はお使いはじめに故障と誤解されやすい現象です。原因をお確かめのうえ、正しくお使いください。

- 洗浄スイッチを押しても洗浄しない
- 元栓が閉まっている。
- リモコンに電池が入っていない。
- 温水タンクへの給水が完了していない。

- 洗浄終了後、“キュー”という音がする
- 水を止めるときに発生する音で、異常ではありません。

- 便座や温水が冷たい
- 節電や電源オートオフの機能を設定している。(19ページ)

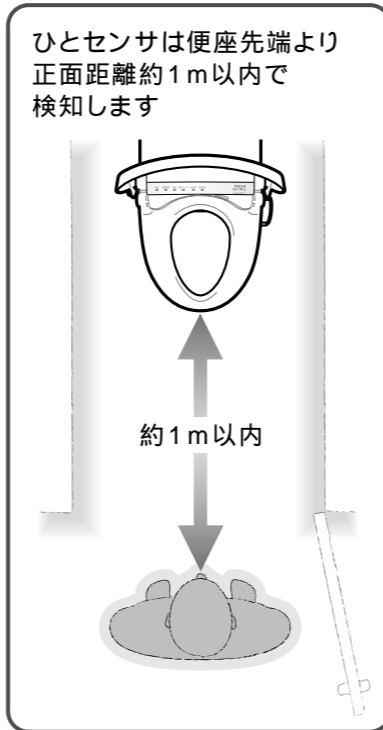
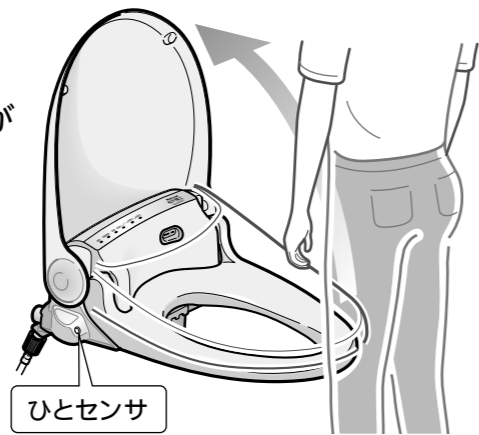
- 洗浄後、ノズル付近から水がぼたぼた落ちる
- ノズル内の残水が出るため、異常ではありません。

これらの場合は、故障ではありません

使いかた

1 ふたが自動で開く

- トイレに入るとひとセンサがはたらき、ふたが自動で開きます。
 - 便座、ふた電動開閉動作中は手などで動きを止めたり逆方向に動かさないでください。
- 動作不良、故障の原因になります。



ひとセンサは、本体の向かって左側にあります。トイレ入口の配置によっては、ふたの開くのがおそい場合があります。

ひとセンサは、人の動きなどの温度変化を検知するため、夏など気温と体温の差が少ないとき、ふたの開くのがおそい場合があります。

ふたカバーや便座カバーをお使いの場合、ふたの開くのがおそい場合があります。専用のふたカバー、便座カバーを使用してカバーがひとセンサの検知範囲を狭めないように正しく取り付ける。

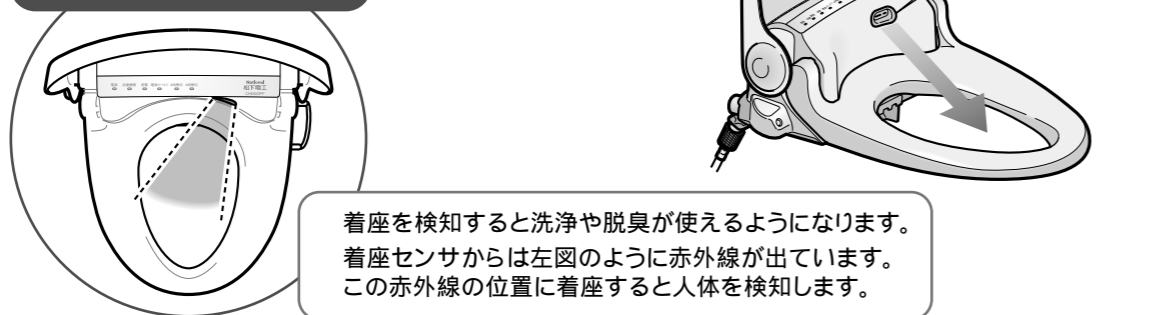
次のような場合は...

- | | |
|---|---|
| トイレに入ってもふたの開くのがおそい。
トイレに入っても(約4分以上、体の動きが少ない場合に起こります)便座、ふたが開まる。 | 足や手などをすこし大きく動かしてください。
ひとセンサの前にゴミ箱などの障害物を置かないでください。 |
| 窓から太陽光が差し込んでいるときに誤って検知し、ふたが開いている。 | 太陽光をさえぎってください。 |
| トイレ内で暖房器具(石油ストーブなど炎が見えるもの)が動作しているとき、誤って検知し、ふたが開いている。 | 炎がひとセンサから直接見えないように暖房器具を移動させてください。 |

2 便座に座る

- 便座に座ると着座センサがはたらきます。
- 便器内の脱臭をはじめます。(17ページ参照)

着座センサについて



次のような場合、着座を誤検知する場合があります。

- | | |
|--|--------------------------|
| 極端な前かがみ、もしくは前寄りに座っている場合 | 背筋をのばし便座の後ろ寄りにお座りください。 |
| 着座センサの表面がゴミや水滴などで汚れている場合 | 汚れを取り除いてください。 |
| 赤外線を反射しにくい衣服(黒っぽい服など)を着用している場合、もしくは衣服が密着している場合 | 衣服を持ち上げ、肌を検知するようにしてください。 |

3 洗う(リモコンで操作します)

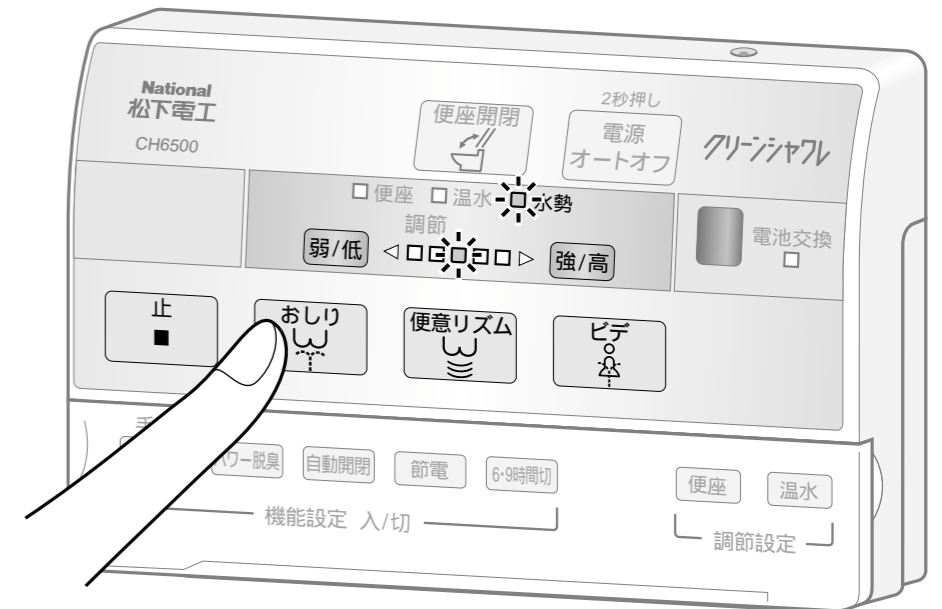
1. **おしり** **便意リズム** **ビデ** のいずれかを押す。
(「水勢」ランプが点灯します)
2. **弱/低** または **強/高** を押し水勢を調節する。
 - 調節は5段階で、直前に使った水勢のレベルを記憶しています。
 - 便意リズム洗浄は最高と最低の水勢を繰り返すので、調節できません。
 - ノズルが出る前に、自動でノズル洗浄をします。(ノズル滝洗浄)

ノズル滝洗浄とは

- おしりノズルおよびビデノズルを強力シャワーで洗浄しノズルを清潔に保つ機能です。
- 洗浄前、洗浄後、立ちあがったときに自動でノズル洗浄を行います。

ノズル滝洗浄をはたらかないようになりたいとき

- 手動 **ノズル洗浄** と **温水** を同時に約3秒間押す
(ピッという音がします)



4 止める

止を押す

ノズルがもどりながら、自動でノズル洗浄をします。(ノズル滝洗浄)

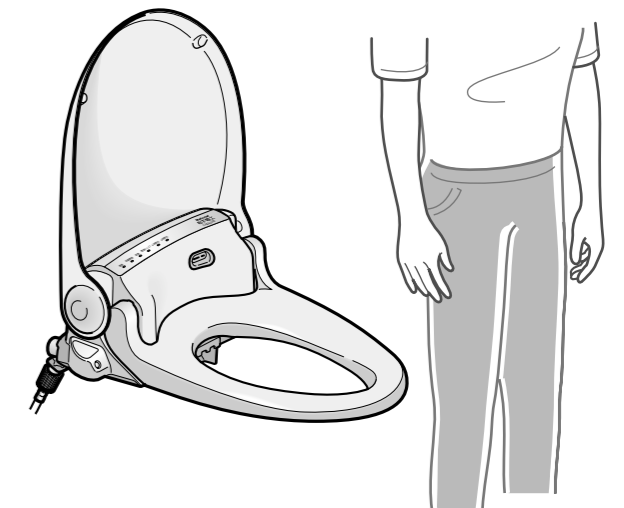
便座からはなれると...

- ノズル洗浄を行います。(ノズル滝洗浄)
- 約1分間便器内の自動パワー脱臭を行います。
- 節電を設定していると約1分後節電をはじめます。(20ページ参照)
- 約4分後ふたが自動で閉まります。
- 電源オートオフを設定していると約15分後、電源切になります。(19ページ参照)

自動パワー脱臭をやめたいとき

便座からはなれてもパワー脱臭にはなりません。

- 温水** と **パワー脱臭** を同時に約3秒間押す
(ピッという音がします)



リモコンの操作のしかたと機能

(受付時は本体部よりピッ、解除はピーと電子音が鳴ります)

温水温度の調節

温水 を押す。☀️ 温水ランプが点灯します。
弱/低 または **強/高** を押して、
 温水温度をお好みの温度に調節する。
 約10秒後にランプは消えます。
 調節後、設定温度になるまで数分間かかります。
 設定は3段階で調節できます。
 3段階のランプ表示で表わします。

便座開閉

便座開閉 を押すと、電動で
 便座を開閉できます。
 ふたを電動で閉じたいときは
止 を押す。

電源オートオフの設定

**電源
オートオフ** を約2秒間押すと、電源オートオフ
 機能がはたらき、本体の電源 **電源オート
オフ**
 オートオフランプが点灯します。
 再度 **電源
オートオフ** を約2秒間押すと、解除
 されます。
 機能については、19ページを参照

電池交換ランプ

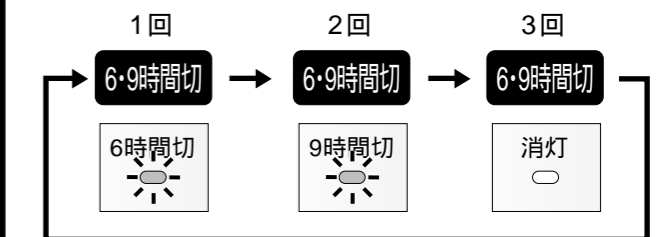
リモコンのスイッチを押したときに電池
 交換ランプが点灯したら、お早めに電
 池交換してください。
 (交換の際には、3本同時新品と交換してください)

暖房便座温度の調節

便座 を押す。☀️ 便座ランプが点灯します。
弱/低 または **強/高** を押して、
 暖房便座をお好みの温度に調節する。
 約10秒後にランプは消えます。
 調節後、設定温度になるまで数分間かかります。
 設定は3段階で調節できます。
 3段階のランプ表示で表わします。

6・9時間切タイマーの設定

6・9時間切 を押すと、本体の6時間切ランプが
 点滅します。
 再度 **6・9時間切** を押すごとに、次のように
 切り替ります。



点滅したまま、約10秒間そのままにするとランプが点灯に変
 わり、切タイマーが設定されます。
 切タイマー設定中に再度、**6・9時間切** ボタンを押すと
 切タイマーが解除されます。
 機能については20ページを参照。
 タイマーを解除した直後は、便座と温水の温度が充分上昇
 せず、つめたく感じる場合があります。
 切タイマー作動中は着座しても、切タイマーは解除
 されません。

ノズル洗浄のしかた 手動でおこなう場合 (着座しているときは受けつけません)

ノズル洗浄 を押すと、おしりノズルおよび
 ビデノズルを強力シャワーで洗浄します。
 お掃除のときなど、手動でノズルを洗浄する場合に
 お使いください。
 通常は、洗浄前、洗浄後、立ちあがったときに自動で
 ノズル洗浄をおこないます。

パワー脱臭の設定

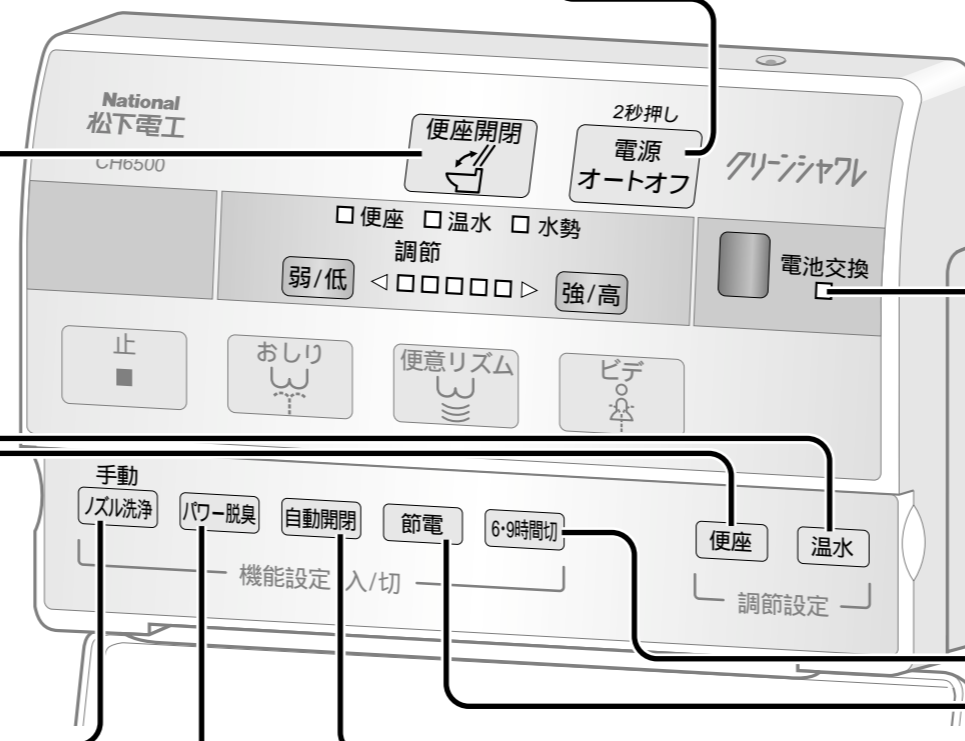
パワー脱臭 を押すと、パワー脱臭機能がはたらき、
 再度 **パワー脱臭** を押すと解除されます。
 パワー脱臭について.....
 脱臭の風量を約1.5倍にアップしてにおいを強力に
 吸引します。
 脱臭機能を止めたいとき
便座 と **パワー脱臭** を同時に約3秒間押す。
 (ピッという音がします)

ふた自動開閉の設定

自動開閉 を押すと、ふた自動開閉機能がはた
 たらき、本体の自動開閉ランプが点灯します。
 再度 **自動開閉** を押すと解除されます。
 ふた自動開閉について.....
 人が近づくと、ふたが自動で開き、はなれると約4分後
 に自動で閉じます。
 6・9時間切タイマーがはたらいているときには動作
 しません。

節電の設定

節電 を押すと、節電機能がはたらき、
 本体の節電ランプが点灯します。
 再度、**節電** を押すと、解除されます。
 機能については、20ページを参照



電源オートオフについて

電源オートオフとは

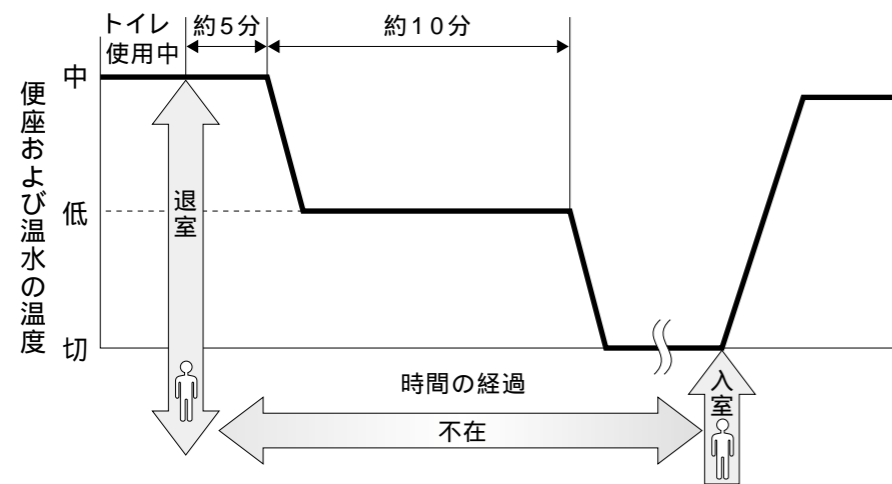
ひとセンサが、トイレに人がいるか、いないかを検知して、トイレに人が入ってくると自動で電源が入り、人が出ていくと電源を切り、使用していないときの無駄な電気をセーブする機能です。

昼間、家に誰もいないご家庭におすすめの機能です。

長時間不在のときなど、電源を切っておきたいときなどにもご使用いただけます。

はたらきとしくみ

便座および温水の設定温度が「中」の場合



人がトイレを出て約4分後にふたが自動で閉まり、約5分後に温度を「低」に下げます。元々の設定温度が「高」の場合でも、「低」に下げます。

さらに約10分間、トイレに人が入らない場合、電源を切ります。

ひとセンサが、トイレに人が入ってきたことを検知すると、ふたが自動で開いて電源が入り、元の設定温度に復帰します。

知っておいていただきたいこと

状況

入室後、便座・温水の温度が上昇するのに数分間かかり、季節によっては、つめたく感じる場合があります。

対応

電源オートオフを解除し、節電、6・9時間切タイマー(18ページ参照)をお使いください。

冬場など、つめたく感じる時期には便座カバー(30ページ参照)をかけてお使いください。

節電について

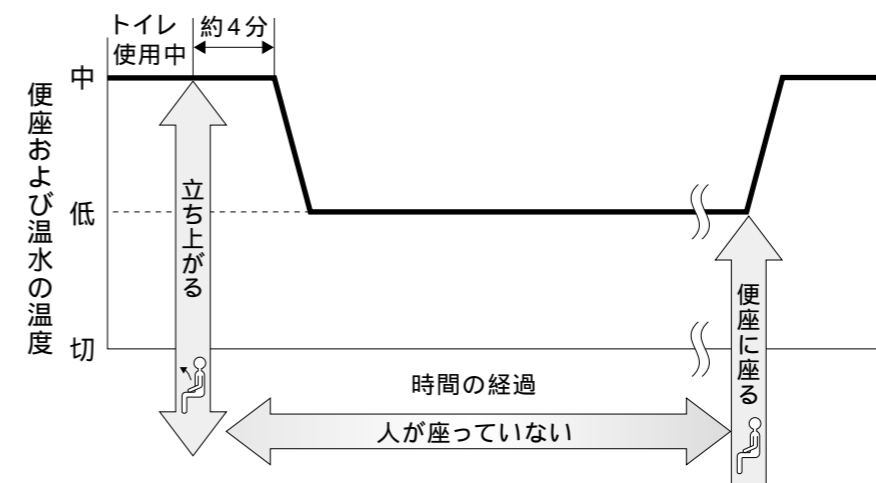
節電とは

着座センサにより、便座に人が座っているか、いないかを検知し、座っていないときには、便座と温水を低温で保温して、無駄な電気をセーブする機能です。

電源オートオフと異なり、便座や温水の電源が切れることはありません。

はたらきとしくみ

便座および温水の設定温度が「中」の場合



便座から立ちあがって、約4分後にふたが自動で閉まり、温度を「低」に下げて保温します。元々の設定温度が「高」の場合でも「低」に下げます。

人が便座に座ると、元の設定温度に復帰します。

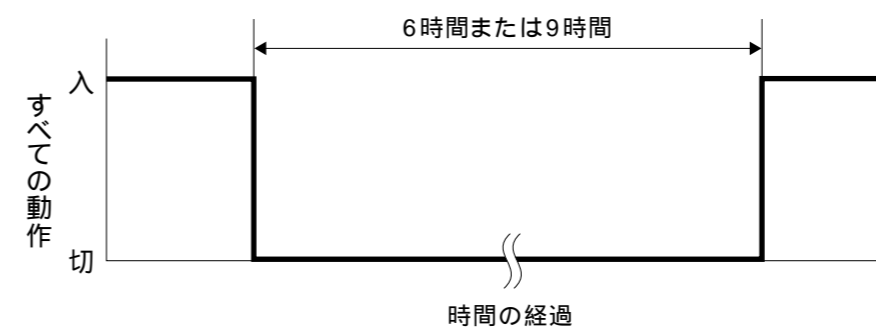
6・9時間切タイマーについて

6・9時間切タイマーとは

すべての動作を6時間、または9時間止めて無駄な電気をセーブし、6時間または9時間後には電源が入り、元の設定に復帰する機能です。

夜寝るときや、長時間外出するときなどにおすすめの機能です。

はたらきとしくみ



タイマーを設定すると、すべての動作が止まります。ふたの自動開閉や電動開閉もはたらきません。

6時間または9時間後に電源が入り、元の設定に復帰します。

日常/週一回

製品についた汚れ、黄ばみを放置しておくと変色することがあります。快適にお使いいただくために、定期的なお手入れをおすすめします。

警告

本体や電源プラグに水をかけない
感電や火災の原因になります。

注意

開口部などから物を入れない
感電、火災、故障の原因になります。

柔らかい布で水ふきし、よくしぼった布でふきとる。
汚れが目立つときは、研磨剤の入っていない中性洗剤をお使いください。

ふた・便座のお手入れ

1 **自動開閉** を押して
本体の自動開閉
ランプを消す

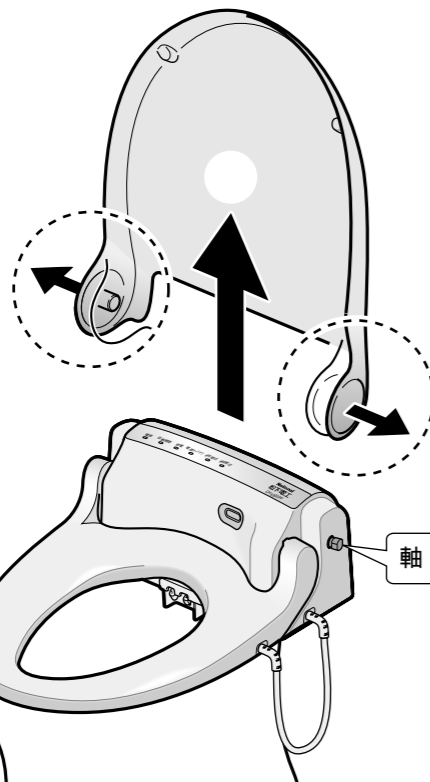


2 ふたと便座を垂直にして取りはずす

垂直にしないですと、ヒンジ軸が斜めになり、うまく取り付けられない場合があります。便座コードははずれませんので無理にひっぱらないでください。

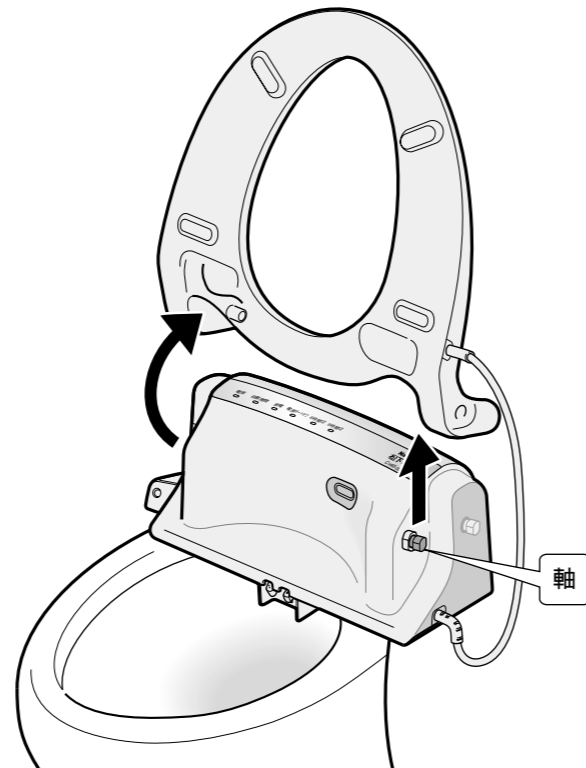
ふた

ふたを広げる
ふたをはずす



便座

便座の右側を上方へ引き抜き、
軸からはずす
便座の左側をはずす



3 ふた・便座・本体をふく

ご注意

- 便座コードがねじれたまま取り付けない。
便座開閉動作不良の原因になります。

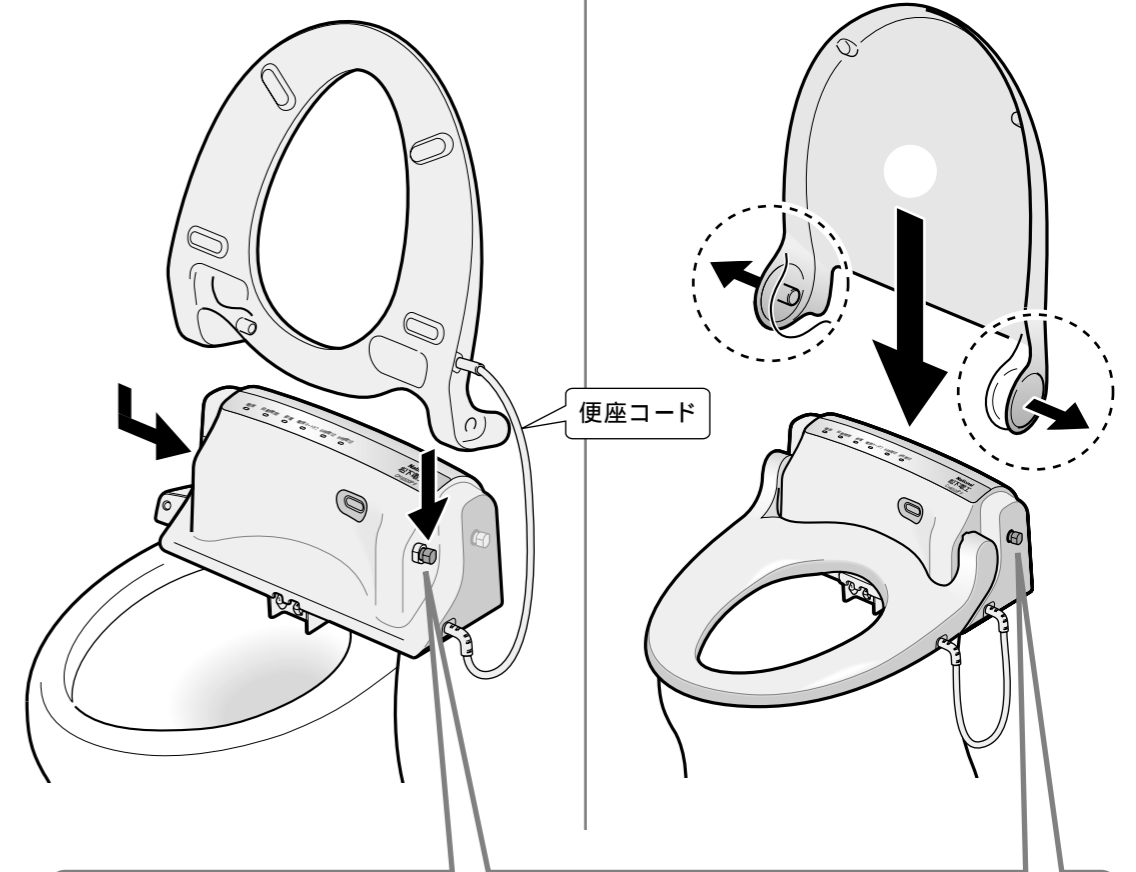
4 便座とふたを取り付ける

便座

本体左側の穴に便座をはめる
便座右側を上方から押し込む

ふた

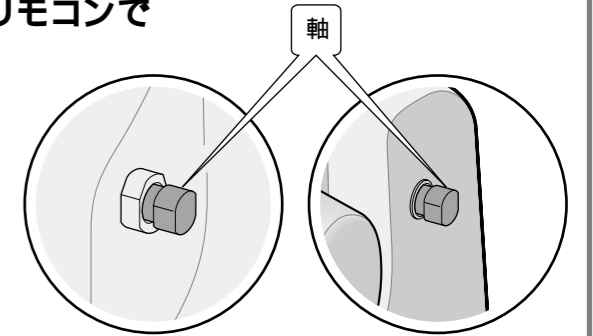
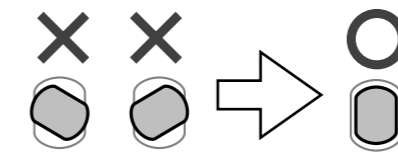
ふたを広げる
本体にはめる



ご注意

- 軸をペンチなどで無理に回転させないでください。
便座・ふた開閉動作不良の原因になります。

軸が斜めになった場合は、リモコンで
軸を垂直にしてから
取り付けてください。



- 自動開閉** と **温水** を約3秒間同時に押すと軸が垂直になります。



月一回程度

警告

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない感電の原因になります。

注意

本体着脱する前は必ず電源プラグを抜き抜かないと、感電やけがの原因になります。

本体着脱する前は必ず止水栓を確実に閉める守らないと水もれの原因になります

本体給水口や給水ホースに無理な力を加えない守らないと破損による水もれの原因になります。

本体着脱時は、無理に力をかけないけがをしたり、便器の配水管の水もれの原因になります。本体着脱がかたい場合は、無理に取りはずさず、(本体固定プレートを固定している)ナットをゆるめてはまず。本体プレートが破損する場合があります。

電源プラグを抜くと、温度調節や設定が工場出荷時の設定にもどります。

本体裏面・便器のお手入れ

最初にしてください

止水栓を閉め電源プラグを抜く

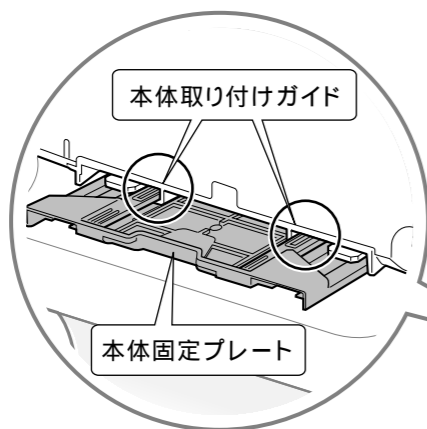


1 ホースクリップをはずす (12ページ参照)

2 本体を持ち上げながら手前にずらし便器の上に置く

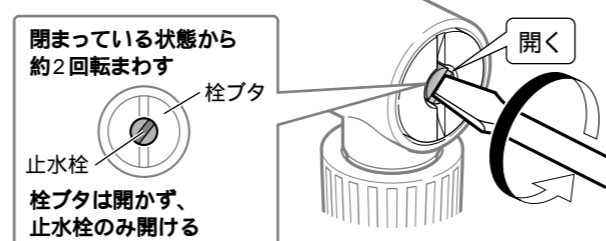
3 汚れを中性洗剤でふきとる

4 本体取り付けガイドを本体固定プレートに合わせ、奥に差し込む



5 ホースクリップを取り付ける

6 電源プラグを差し込み止水栓を開き水もれ確認をする

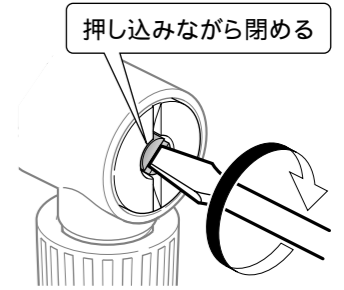


● ストレーナ(ゴミ取りフィルター)に水あかやゴミなどがつまると、適正な性能が得られなくなります。洗浄水の出が悪くなったときは、ストレーナのお手入れをしてください。

ストレーナのお手入れ

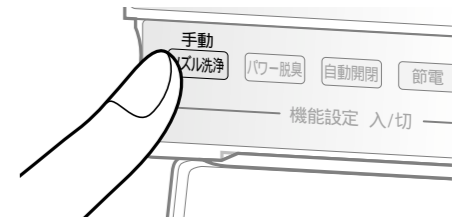
最初にしてください

止水栓を閉める



1 手動「ズル洗浄」を押す

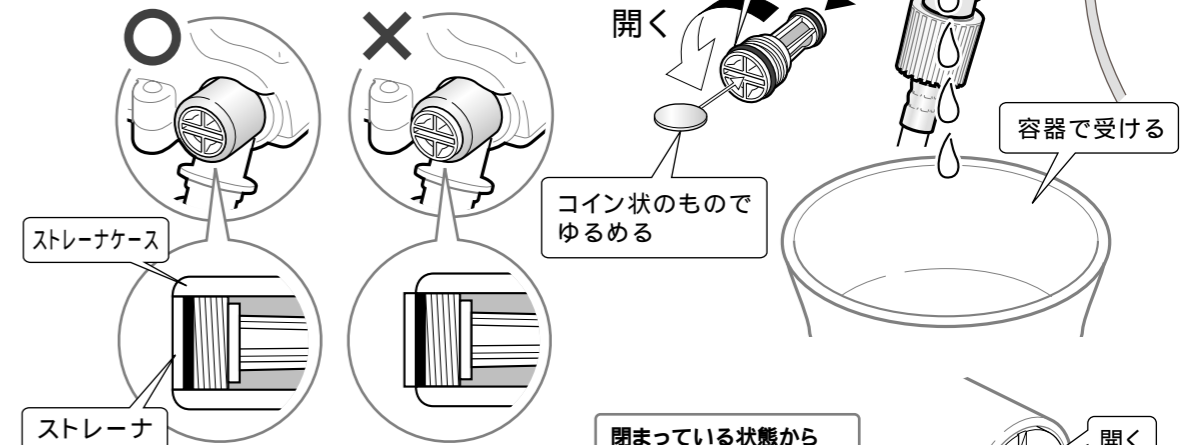
内部の水圧を下げるためです。



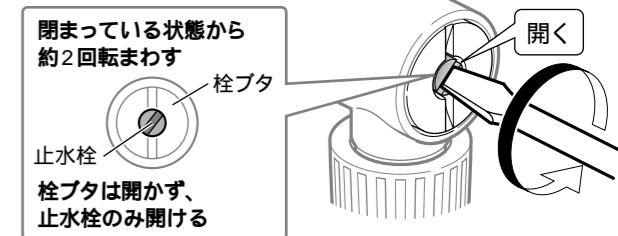
2 ストレーナを取りはずしブラシ等で水洗いする

3 ストレーナを取り付ける

ストレーナとストレーナケースの面が一致する程度に(つきあたるまで)締めてください。



4 止水栓を開き水もれ確認をする



● 脱臭吸込口がつかると効果的な脱臭性能が得られなくなります。脱臭効果が弱くなったり、脱臭音が大きくなったときは脱臭吸込口のお手入れをしてください。

脱臭吸込口のお手入れ

● 乾いたブラシなどで綿ぼこりやペーパーくずなどを取り除いてください。

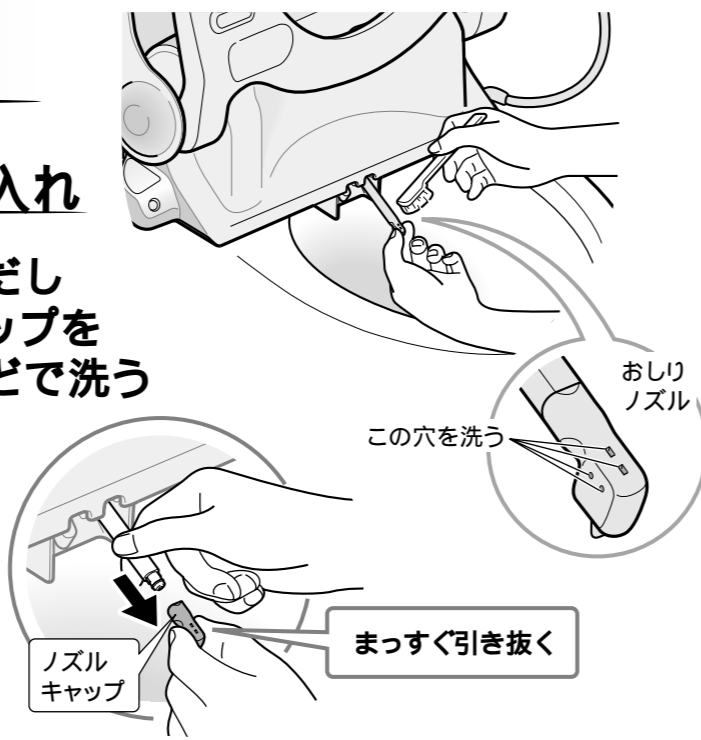
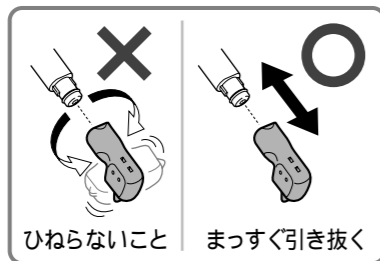


月一回程度

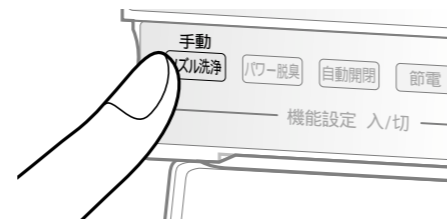
洗浄ノズルのお手入れ

1 ノズルを軽く引きだし 先端のノズルキャップをはずしてブラシなどで洗う

- ノズルが目づまりしたときは先端のノズルキャップをはずして水洗いしてください。

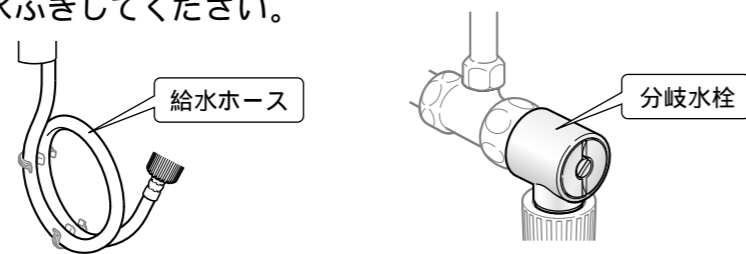


2 ノズルを戻し 手動ノズル洗浄を押して ノズル洗浄をする(約3秒間)



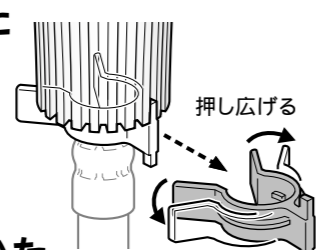
給水ホースと分岐水栓のお手入れ

柔らかい布で水ふきしてください。

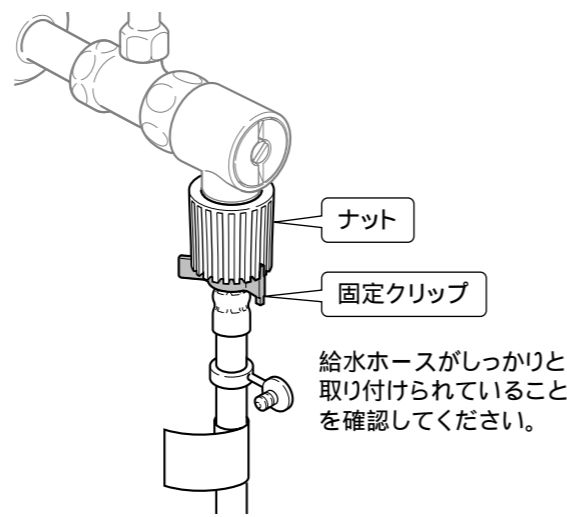
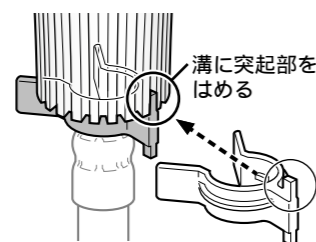


固定クリップのはずしかた、取り付けかた

はずしかた



取り付けかた



- ノズルを差し込むとき、水が出る場合がありますので、ご注意ください。

ご注意

- ノズルの引き出し、またはノズル先端部を引き抜くときはまっすぐ行ってください。左右にひねったりすると破損の原因になります。

⚠注意

給水ホースに力を加えたり、折り曲げたり、とがったもので傷をつけない
水もれの原因となります。

本体、給水ホース、ナットに中性洗剤以外の洗剤、薬品、芳香剤などをかけない
劣化による水もれの原因になります。

ご注意

- 給水ホースを取り付けたあとや、ホースに力を加えたときなどは必ず接続部のゆるみがないか確認してください。

長期間使用しないとき

⚠注意

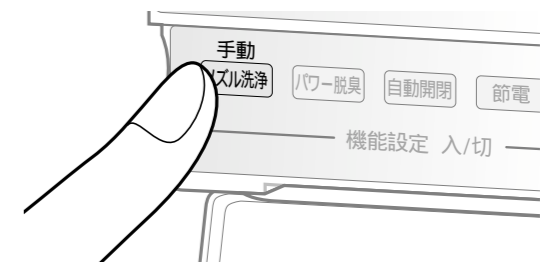
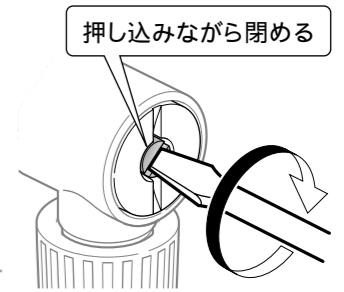
長期間使用しないときは、本体の水を抜き、電源プラグを抜く
守らないと、水が腐敗して、皮膚が炎症などを起こすおそれがあります。

最初にしていただくこと

止水栓を閉める

1 手動ノズル洗浄を押す

内部の水圧を下げるためです。

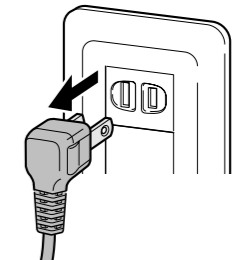


2 電源プラグを抜く

ご注意

- 長期間使用しないときはリモコンの電池をはずしてください。

電池の液もれによるリモコン故障の原因になります。



3 温水タンク排水栓 給水ホースをはずして 本体と給水ホースに残っている水を抜く



ご注意

- 給水ホースを締めすぎない。
締め付けすぎると、給水ホースが破損し、水もれのおそれがあります。

4 温水タンク排水栓 給水ホースを元通りに取り付ける

再使用するときは水もれ確認をする

凍結のおそれがあるとき

⚠ 注意

凍結のおそれがあるときは、水を抜く凍結すると、配管や、本体内部が破損して水もれの原因になります。

電源を入れておいてタンク内は凍結によるタンク破損で水もれの原因となります。

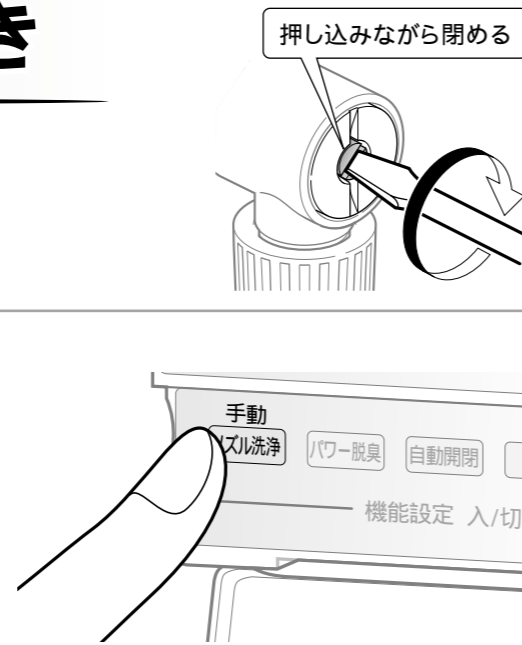
ご注意

- 電源プラグはコンセントから抜かないでください。
 - オートオフ機能は解除してください。
 - 黒いパッキンを傷つけたり、ゴミをはさまないようにしてください。(水もれの原因となります。)
- 締め付けすぎると、給水ホースが破損し、水もれのおそれがあります。

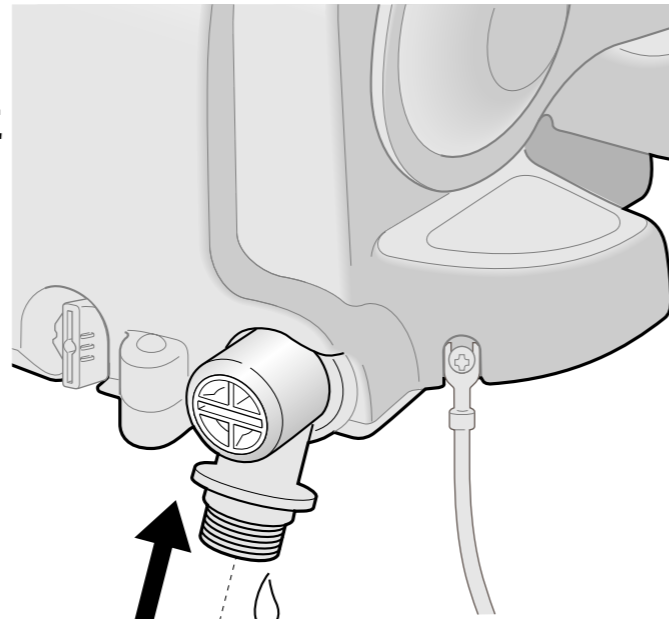
最初にしていただくこと

止水栓を閉める

- 1 手動ズル洗淨を押す**
内部の水圧を下げるためです。



- 2 給水ホースを取りはずし本体と給水ホースに残っている水を抜く**



- 3 給水ホースを元通り取り付け**

再使用するときは水もれ確認をする



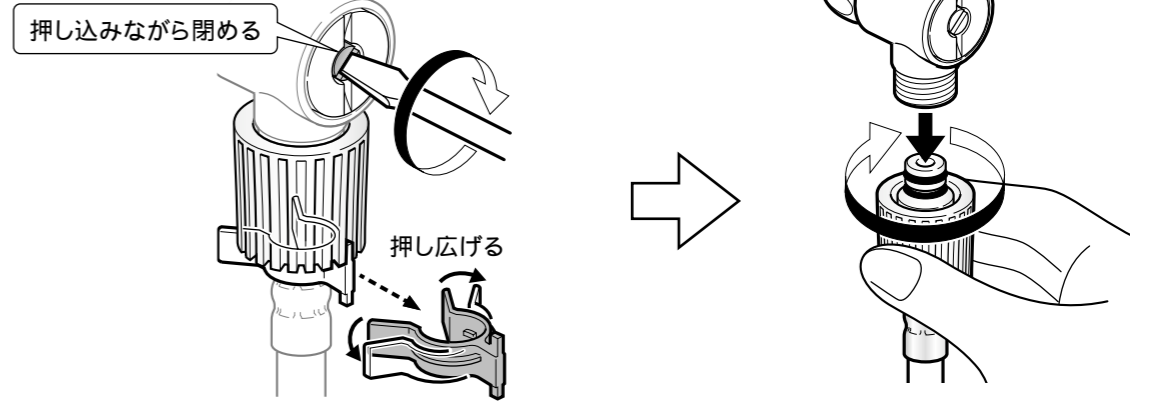
万一の破損、水もれのとき

以下の処置を行い、その後、修理を依頼してください

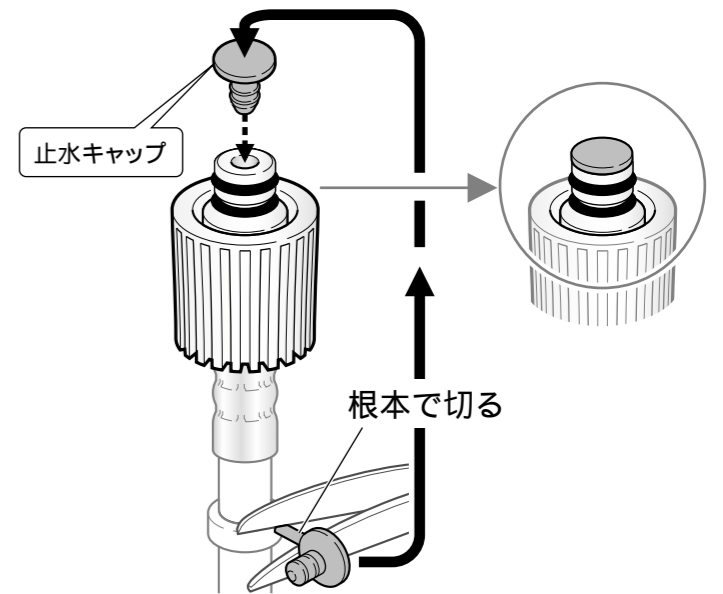
最初にしていただくこと

止水栓を閉め固定クリップをはずし給水ホースナットを手でまわしてはまず

- 固定クリップのはずしかた、取り付けかたは25ページの固定クリップのはずしかた、取り付けかたをご参照ください。

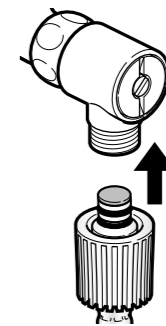


- 1 止水キャップで給水ホースにふたをする**



- 2 給水ホースを手で元通り取り付け固定クリップを取り付ける**

再使用するときは水もれ確認をする

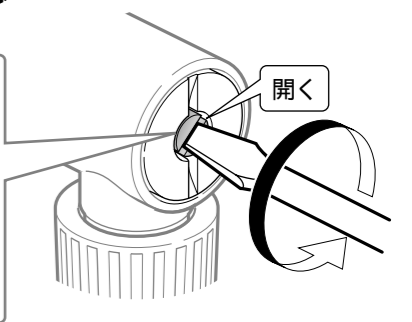


- 3 止水栓を開ける**

閉まっている状態から約2回転まわす

止水栓

栓ボタンは開かず、止水栓のみ開ける



ご注意

- お手入れのあとや、ホースに力を加えたときなどは必ず接続部のゆるみがないか確認してください。
- 止水栓を開けないと、ロータンク内に水が溜まらず、汚物を流すことができません。

故障かな?と思ったとき

修理を依頼される前に
下記をお読みください。

現象	確認項目	処置	
洗浄ノズルが出ない 洗浄水が出ない 洗浄水勢が弱い 洗浄水の出が悪くなった 洗浄ノズルが途中で止まる	止水栓を閉じていませんか	止水栓を開ける	14ページ
	給水ホースが折れていませんか	給水ホースの折れ曲がり直す	12ページ
	電源ランプが消えていませんか	電源プラグをコンセントに差し込む	14ページ
	電源ランプが点滅していませんか	を押す(初期給水をする)	14ページ
	ストレーナにゴミがつかっていませんか	ストレーナを掃除する	24ページ
	ノズルが目づまりしていませんか	ノズルを掃除する	25ページ
	6時間切ランプまたは9時間切ランプが点灯していませんか	を押し、切タイマーを解除する (切タイマー作動中は着座しても解除されません)	18ページ
	着座センサに衣服が密着していませんか 赤外線を反射しにくい衣服を着用していませんか	衣服を持ち上げ、肌を検知できるようにする	15ページ
洗浄水がつめたい (ぬるい)	長時間洗浄(約70秒以上)をしていませんか	を押し、約5分待つ (タンク内のお湯をあたためる)	16ページ
	2人以上連続で使用していませんか		
	温水温度設定が「切」または「低」になっていませんか	温度を調節する (季節によっては「低」でもつめたく感じる場合があります)	17ページ
	節電中ランプが点灯していませんか	を押し、解除する (節電中は温水が「低」になっています)	18ページ
	オートオフ機能がはたらいていませんか	を押し、解除する	18ページ
	6時間切または9時間切タイマーを解除した後すぐに使用していませんか	約5分待つ (タンク内のお湯をあたためる)	
	洗浄中止をくり返していませんか		14ページ
ノズル付近から水がもれている	ノズル内部の排水によるもので故障ではありません		
便座がつめたい (ぬるい)	便座温度設定が「切」または「低」になっていませんか	温度を調節する (季節によっては「低」でもつめたく感じる場合があります)	17ページ
	節電中ランプが点灯していませんか	を押し、解除する (節電中は便座が「低」になっています)	18ページ
	オートオフ機能がはたらいていませんか	を押し、解除する	18ページ
	6時間切ランプまたは9時間切ランプが点灯していませんか	を押し、切タイマーを解除する (切タイマー作動中は着座しても解除されません)	18ページ
	リモコンを押しても作動しない	電池が切れていませんか リモコン発信部・受信部にゴミ・ホコリがついていませんか リモコン発信部・受信部がおおわれていますか	電池を交換する ゴミ・ほこりをとる おおいをとる
2台以上のクリーンシャワレがリモコンと一緒に動作する	トイレの仕切壁を超えて隣のリモコン信号を受けていませんか	リモコンの信号を変更できます 弊社にお問い合わせください	13ページ
便座が倒れる	便座コードがねじれていませんか	便座をはずし、コードのねじれをなくす	22ページ
	専用品以外の便座カバーを使っていますか	専用の便座カバーを使用する	30ページ
ふたが倒れる	ふたがロータンクに当たっていませんか	ナット、半球パッキンをはずし本体の位置を調節し、本体をしっかり固定する	11ページ
	専用品以外のふたカバーを使っていますか	専用のふたカバーを使用する	30ページ
脱臭が作動しない	着座センサがゴミや水滴などにより汚れていませんか	着座センサを掃除する	15ページ

現象	確認項目	処置	
自動パワー脱臭が作動しない	自動パワー脱臭を停止していませんか	電源プラグを抜いて再度差し込む	
脱臭が止まらない	ふたカバー、便座カバーが、着座センサをおおっていませんか	専用のふたカバー、便座カバーを使用して着座センサをふさがないように正しく取り付ける	30ページ
	着座センサがゴミや水滴などにより汚れていませんか	着座センサを掃除する	15ページ
においが取れなくなった	脱臭吸込口にほこりがついていませんか	脱臭吸込口のお手入れをする	24ページ
ふた・便座がうまく取り付かない	軸が斜めになっていませんか	軸を垂直にもどしてから取り付ける	22ページ
便座・温水温度の設定でランプが1つとびに移動する	温度調節は3段階で、ランプの表示は1つとびになります。		
ふたが自動で開かない	自動開閉ランプが消えていませんか	を押し、ふた自動開閉の設定をする	18ページ
	手または を押してふたを開け、1分以内に再入室しませんでしたか	故障ではありません	
ノズルの汚れがひどい ノズル洗浄が作動しない	ふたカバー、便座カバーがひとセンサの検知を妨げていませんか	専用のふたカバー、便座カバーを使用してカバーがひとセンサの検知範囲を狭めないように正しく取り付ける	30ページ
	ノズル洗浄をはたらかないようにしていませんか	ノズル洗浄をはたらかせます 手動 ● と を同時に約3秒間押す ● 電源プラグを抜いて再度差し込んでリセットする	16ページ



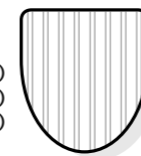
上記の処置をしても直らないときはお買い上げの販売店にご相談ください。
ご自身での分解修理は故障や事故の原因となりますので、絶対におやめください。

別売品

商品機能に支障をきたす場合がありますので、必ず専用品をお使いください。

ふたカバー

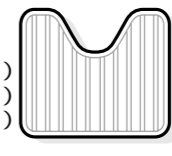
CH79075 - W(ホワイト)
- P(ピンク)
- A(ブルー)



希望小売価格 3,000円(税別)

トイレマット

CH79074 - W(ホワイト)
- P(ピンク)
- A(ブルー)



希望小売価格 3,500円(税別)

便座カバー

CH79073 - W(ホワイト)
- P(ピンク)
- A(ブルー)



希望小売価格 1,500円(税別)

お買い求めは、本体をお買い上げの販売店に注文してください。

便座の抗菌

抗菌効果	製品表面の細菌の増殖を抑制します。これは、(社)日本住宅設備システム協会の基準により評価したものであり、これにより感染防止、防汚、防カビ、防臭、ぬめり防止などの副次的効果を訴求するものではありません。	抗菌剤の種類	無機系(銀)
	抗菌加工部位	便座	抗菌性持続性 安全性 禁止事項 取扱注意事項
			(社)日本住宅設備システム協会基準により確認 (社)日本住宅設備システム協会基準により確認 酸性・アルカリ性の洗剤は使用しないでください。 抗菌力を発揮させるため、製品表面はよく掃除された状態に保ってください。



半年に1回次のようなことを点検してください。

電源コードを動かしたときに電が入ったり、切れたりしませんか。
本体・プラグ・電源コードや便座コードがさわれないほど熱くなっていませんか。
コードに傷はありませんか。
異常なおい(焦げるような)や音が出ていませんか。
触ると電気(ビリビリ)を感じることはありませんか。
プラグ刃のガタツキがありませんか。

長年ご使用の
電気器具の点検を!!

点検時にはプラグ・プラグ刃の汚れを落としてください。
異常があれば故障や事故防止のため販売店にご相談ください。